

文部科学省 令和3年度指定

令和4年度
マイスター・ハイスクール事業
研究実施報告書

第2年次



令和5年3月

滋賀県立彦根工業高等学校

目次

はじめに	
ビジュアル図	・・・ 1
1 研究概要	・・・ 2
2 研究内容	
(1) 実施日程	・・・ 4
(2) 実績の説明	・・・ 6
3 令和4年度の成果	・・・ 19
4 次年度以降の課題及び改善点	・・・ 20
5 関係資料	
(1) 委員会報告	・・・ 21
(2) 広報記録	
ア GENKO通信	・・・ 27
イ 事業 PR チラシ	・・・ 41
(3) 令和4年度教育課程表	・・・ 43
(4) 非認知能力の個人カルテ (サンプルイメージ)	・・・ 45

はじめに

滋賀県立彦根工業高等学校

校長 大久保 貴生

本校が、文部科学省「マイスター・ハイスクール事業」の委託を受け、2年を終えました。初年度（令和3年度）は、本校に、産業界からマイスター・ハイスクールCEOと産業実務家教員をお迎えし、地域産業界、彦根市および高等教育機関等とのコンソーシアム構築に奔走した1年となりました。各方面の皆様には、本事業の趣旨にご理解とご賛同をいただき、目標とする「人財を地域の多様な主体の共創により育成していく」ための環境を整えることができました。

その上で、令和4年度は、各分野のスペシャリストを招聘しての「ブラッシュアップ実習」、企業・仕事・自身をより深く知るための「長期インターンシップ」および「カンパニー活動」でのバイオプラスチック製品の開発等、地域や産業界との連携を深め、実践的・体験的な学びを充実させることができました。

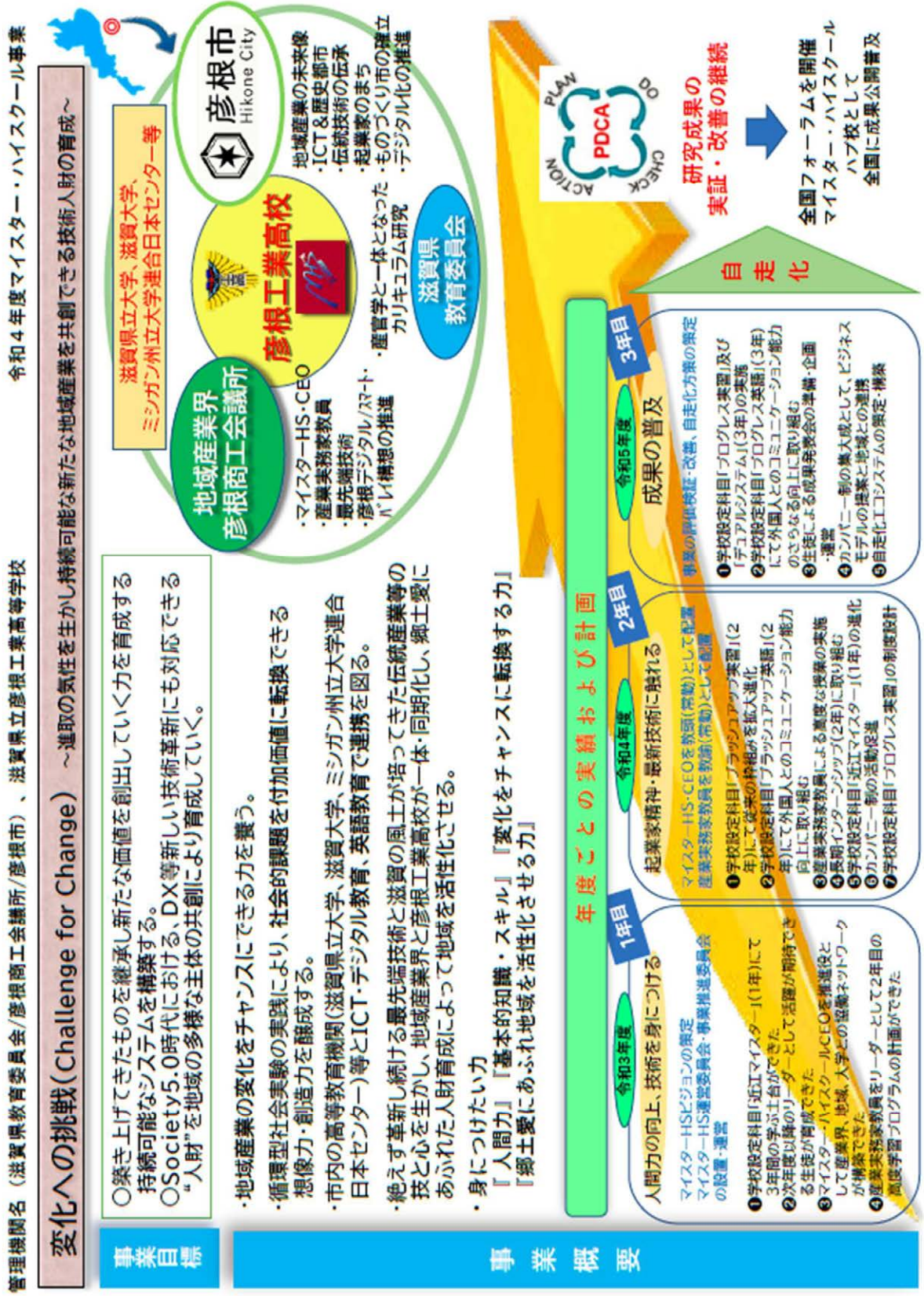
また、「職業人に求められる倫理観の育成」を、「非認知能力の向上」と捉え、その能力をデータ化する試みにも着手しました。本事業の様々な学習プログラムが、生徒の「やり抜く力」、「コミュニケーション能力」、「自制心」等、企業あるいは社会全体が求める人間力の向上につながっているかについて、調査・分析を行っています。

さらに、事業の完成年度となる令和5年度は、「プログレス実習」の一部でデュアルシステム導入等、生徒が、より主体的に社会の形成に参画するプログラムを実施します。今後も継続して、幅広い知識と技術を持った人財の育成に取り組み、日本の職業系高等学校のリーディング校として、滋賀の工業教育振興にさらなるリーダーシップを発揮していきたいと考えます。

そして、「新たな価値を創出していく力を育成する持続可能なシステムを構築する」という目標を達成し、地域の継続的な成長を牽引する人財の輩出につなげていきます。

結びになりますが、本事業に伴い、ご支援・ご協力をいただいております皆様に感謝申し上げます。また、関係諸機関の皆様には本書をご高覧いただき、今後の本事業の充実・発展のため貴重なご意見やご助言をいただければ幸甚に存じます。

ビジュアル図



1 研究概要

(1) 事業名

変化への挑戦 (Challenge For Change)

～進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人財の育成～

(2) 事業概要

伝統技術等のビッグデータ分析などICT・デジタル教育で連携を図りながら、社会的課題を新たなチャンスにとらえ、高付加価値を持つ産業へと創出できる“人財”を多様な主体の共創により育成するシステムを構想する。絶えず革新し続ける最先端技術と滋賀の風土が培ってきた伝統産業等の技と心を生かし、地域産業界と彦根工業高校が一体・同期化し、郷土愛にあふれた人財育成によって地域を活性化させ、ICT&歴史都市という未来像の実現に資する。

(3) 事業の実施期間

令和3年度から3年間（今年度は2年目）

(4) 育成する人材像

地域に密着し、産業人として活躍できる「人財」を育てる。

- ・ 高い倫理観を持ち地域の産業を支えられる人材
- ・ 高い技術力を持ち、ものづくりの現場でリーダーシップをとり、イノベーションを起こせる人材
- ・ 地域への愛着と地域の発展と活性化に貢献したいという強い意志をもつ人材

(5) 付けたい力

「目標（目的地）を持つ」

「自分で考え、自分で実行する」

「得意(好き)なことを徹底的にやる」

- ・ 人間力
 - ✓ 生涯学び続けようとする意欲
 - ✓ 思考力・判断力・表現力および課題解決能力の育成
 - ✓ コミュニケーション力・リーダーシップ
 - ✓ 想像・創造する力と課題解決能力の育成
- ・ 地域の伝統産業の技に繋がる基礎的なものづくりの知識・スキル
 - ✓ ものづくりの歴史と「三方よし」の精神を踏まえた「近江の心」の継承
 - ✓ 第4次産業革命にかかわる最先端技術についての学習
- ・ 変化をチャンスに転換する力
- ・ 郷土愛にあふれた人材となり、地域を活性化させる力
- ・ 社会的課題を付加価値に転換できる想像力・創造力の醸成

(6) 事業実施体制

意思決定機関（マイスター・ハイスクール運営委員会）

氏名	所属・職
和田 裕行	彦根市・市長
小出 英樹	彦根商工会議所・顧問
竹村 慎司	滋賀大学・学長
廣川 能嗣	滋賀県立大学・学長
福永 忠克	滋賀県教育委員会・教育長
大久保 貴生	滋賀県立彦根工業高等学校・校長

事業実行機関（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

氏名	所属・職
青木 政義	(株) SCREENホールディングス・CEO
橋岡 由男	(株) 清水合金製作所・産業実務家教員
野崎 孝志	彦根商工会議所・専務理事
稲野 善行	彦根市産業部・次長
山根 浩二	滋賀県立大学・副学長
森野 実知子	滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課・課長
横井 正弘	滋賀県教育委員会事務局高校教育課・課長
大久保 貴生	滋賀県立彦根工業高等学校・校長

2 研究内容

(1) 実施日程

業務項目	実施日程												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
近江マイスター													
事前学習会	○												
校外学習 (国民休暇村、琵琶湖博物館)		○											
インパクトラボ 講演			○										
笑顔いっぱい プロジェクト			○ 応募		○ 滋賀大コラボ			○ 表彰					
大学講義・企業見学 (事前・見学・事後)						○							
SDGsを学ぶ (滋賀県立大学)						○							
カンパニー活動 説明会							○						
伊藤忠兵衛記念館 講話									○				
ブラッシュアップ													
ブラッシュアップ実習	←—————→												
ブラッシュアップ英語							←—————→					→	
プログレス実習													
プログレス実習試行 候補先探し	←—————→		実習試行					←—————→		候補先探し		→	
インターンシップ													
長期インターンシップ (彦根商工会議所他)			○ 事前説明会	○ インターンシップ	○ 事後報告会	○						○ 事前学習会	
プロジェクトマップ													
マルチメディアソフト 学習 コンテンツ撮影・制作							←—————→	○ 撮影	○ 制作 ・ 発表	○ 投影		←—————→	学習 (2年)

カンパニー活動												
カーボン ニュートラルを 学ぶ		○ ひまわり 播種					○ 菜種 播種	○ 説明 会				○ バイ 材研 修
					○ 副知事 プレート贈呈	○ 知事 プレート贈呈				○ 小倉百人一首 近江神宮 展示	○ 小倉百人一首 石山寺 展示	
ものづくり × SDGs				○ イベント参加								
キャンプ												
マイスター 防災キャンプ (彦根市)										○		
ドローン												
講習							○	○				○
操作技術習得 文化祭展示								○ 文化祭展示				○ 操作技術習得
研究成果の公開・普及												
指定校 中間成果発表会 (文部科学省主催)									○			
成果発表会 (本校主催)												○
広報活動 HP 掲載、SNS 発信、 GENKO 通信、チラシ等												
運営												
運営委員会 ◎			◎ 運営委員会 6/20									◎ 運営委員会 2/10
事業推進委員会 ○			○ 事業推進委員会 6/14									(○) (事業推進委員会 1/25 は 大雪のため中止)
MHS 校内推進委員会												

(2)実績の説明

ア 近江マイスター(1年生対象 学校設定科目)

大学や企業から未来の産業社会や地元彦根の地場産業について学び、ものづくりやSDGs の取組を通して自分の進む道を想像する。また、課題に対して解決法を考える力、他者の意見に耳を傾けながら自ら深く考え自身の言葉で表現できる力、いかなる集団においても望ましく円滑な人間関係を築く力を身に付けることを主眼とする。

(ア)事前学習会 4月27日

昨年度からスタートした1年生対象の学校設定科目「近江マイスター」の授業を行った。初めに青木マイスター・ハイスクール CEO、橋岡産業実務家教員からの「マイスター・ハイスクール事業を学ぶ意義」や「地元彦根の産業」、「社会人になるために大切なこと」などの講話を受けた。次に本校マイスター・ハイスクール推進室の古市教諭から、これからのSDGs やMLGs※に関する取り組みや、「ルーブリック評価」についての説明があった。ルーブリック評価表を用いて、到達目標や到達度を明確にし、教員・生徒の相互評価を行う。

※マザーレイクゴールズ(Mother Lake Goals, MLGs)は、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会へ向けた目標(ゴール) (<https://mlgs.shiga.jp/>より参照)

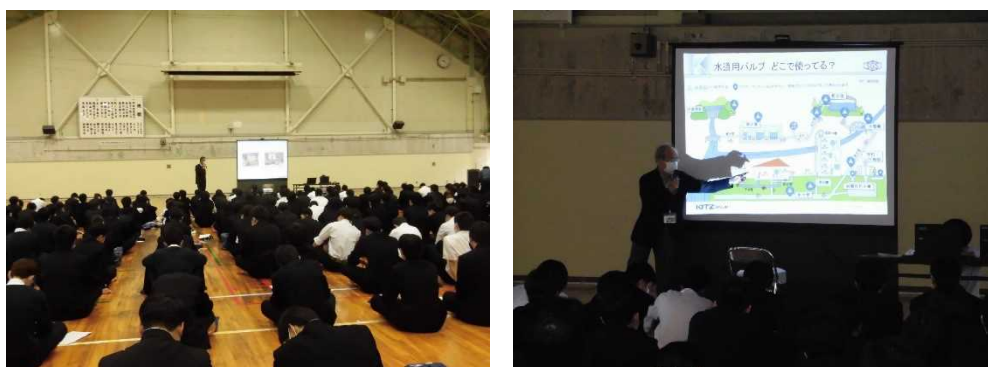


図1 CEO および産業実務家教員による講話の様子

(イ)校外学習 5月2日

近江マイスターの授業の一環で国民休暇村・琵琶湖博物館を訪問した。国民休暇村ではクラスごとにイカダづくりを行い、クラス内の親睦を図るとともに、琵琶湖の環境に触れることで、環境学習をより身近なものに捉えることができた。琵琶湖博物館では、琵琶湖の生態系について学び、MLGs の基礎となることを体験した。この1日の活動を通して、生徒は滋賀県の環境について様々な側面から学習できた。



図2 校外学習の様子

(ウ)インパクトラボによる SDGs・MLGs 学習 6月22日

一般社団法人インパクトラボの代表理事を務める上田隼也様による「わたしと SDGs ～SDGs で世界を変える挑戦～」の講演を開催した。「わたしと SDGs」「SDGs クイズ」「滋賀県と SDGs」という題目で進行され、SDGs を学び、語るができるようになることを目標に、生徒たちは前向きに取り組むことができた。また、SDGs の 17 の目標の一つ一つに焦点をあてて、クイズ形式で発問していただき、生徒たちは主体的に SDGs に関する知識を深めることができた。最後に滋賀県と SDGs という観点で、琵琶湖を題材として取り上げ、MLGs も含めて生徒たちの学びを促進する講話をして頂いた。琵琶湖を通じて、SDGs とどのように関わることができるのかということ、イラストを使って説明して頂いた。



図3 講演の様子

(エ)彦根発、笑顔いっぱいプロジェクト 11月26日表彰式

このプロジェクトは、同じ彦根市に拠点を持つ企業として株式会社平和堂、キリンビール株式会社(滋賀工場)、株式会社ブリヂストン(彦根工場)が滋賀大学と連携して行われているもので、地域住民との交流、地域資源の発掘や地域課題を発見・解決へ取り組む経験を通じ、高校生が自ら考え行動し、夢に向かってチャレンジする力の醸成と地域への深い理解を促進することを目的としている。

本校では「近江マイスター」の一環で1年生が企画について考え、応募した。その中から、優秀賞として「5R とフリーマーケット」が、アイデア賞として「彦根で新しい宿泊体験を!!」、「彦根の隠れパワースポットを知ろう」が選出された。優秀賞に選ばれた建設科の生徒は夏休み期間中に滋賀大学の学生と協力し、企画の実現に向けて取り組んだ。今回は惜しくも最優秀賞には選ばれなかったが、「学校生活ではなかなか体験することができない貴重な経験だった。」と振り返ってくれた。

今回の経験を通じて、今後も生徒たちの柔軟な発想でまちづくりに参画してくれることを期待している。



図4 表彰式の様子

(オ)大学講義・企業見学 9月5日

自分の将来について考えるきっかけとして、滋賀県立大学での講義体験や希望するコースに分かれての企業見学を実施した。大学での講義では、本事業の事業推進委員でおられる山根教授からカーボンニュートラルについて学び、環境問題への意識が高まった。

企業見学では各コース(地場産業匠の技を学ぶコース、先端技術を学ぶコース、環境技術を学ぶコース)に分かれて見学を行った。企業ではわかりやすく丁寧に仕事について説明していただき、学校に戻ってからは生徒同士で感想を述べあう姿が見られた。1年生から企業や大学を見学できたことで将来のキャリアデザインに大きな影響を与えられたと考える。大学や企業には、本事業の推進にあたり多方面にわたり多大なる御支援・御協力をいただき深謝いたします。

<見学先企業 13社>

匠の技：(株)清水合金製作所、井上仏壇、(株)永楽屋仏壇工場

先端技術：(株)SCREEN ホールディングス彦根事業所、サカタインクス(株)滋賀工場、(株)坂本金型工作所滋賀工場、(株)ナイキ彦根工場、日世(株)びわ湖工場、日本電気硝子(株)能登川事業所、パナソニックホームズ(株)湖東工場、フジテック(株)Big Wing、(株)村田製作所八日市事業所

環境技術：夏原工業(株)



図5 大学講義・企業見学の様子

(カ)SDGsを学ぶ 滋賀県立大学「近江楽座」講演 9月14日

昨年に引き続き、滋賀県立大学の学生が取り組む地域貢献プロジェクト「近江楽座」の学生を講師に迎え、オンライン講義を行った。今回は「あかりんちゅ」、「県大生き物研究会」に所属されるお二人にプロジェクトの活動内容やその目的、SDGs とのつながりについて、わかりやすく講じていただいた。



図6 講演の様子

(キ)カンパニー活動説明会 10月14日

1年生にむけて、現在活動中の2年生のうち3名の生徒が中心に取り組んでいる「カーボンニュートラルを学ぶ」という題目で、ユーグレナや植物を使用した環境に優しい素材の開発に取り組んでいる本活動の魅力をオンライン形式で紹介してくれた。その結果、1年生は40名を超える生徒が本活動への参加を表明し、その生徒たちがこれからどのような取り組みをしてくれるか非常に楽しみにしている。

(ク)伊藤忠兵衛記念館 講話 12月9日

近江商人の心について学ぶため、伊藤忠兵衛記念館(公益財団法人 豊郷済美会)の常務理事に講演をしていただいた。伊藤忠商事株式会社や丸紅株式会社を創業された初代伊藤忠兵衛氏の生涯を辿りながら、「三方よし」の教えなど近江商人としての精神について学んだ。今後はこれらの教えを心に留め、今後のものづくりに生かしてもらいたい。



図7 講演の様子

イ ブラッシュアップ実習(2年生対象 学校設定科目)

今年度から各クラス10名4班の通常実習に加え、10名程度のブラッシュアップ実習班を新設し、合計5班体制で実習を行った。従来の実習からよりレベルアップした内容を行う希望者による選択制の実習としている。専門家の講師を依頼し、プロから高度な技術・高度資格の習得を目指すと共に、外部講師との関わりを通して社会人としての当たり前を学ぶことを重要視している。

(ア)機械科

技能検定(普通旋盤作業・機械検査作業)の資格取得を目指し、普通旋盤作業では令和3年度に「おうみの名工」を受賞された方をお迎えし、技術のみならず、本校生徒に身に付けてほしい資質や企業で取り組まれている安全活動、KYT、5S 活動 についてご指導いただいた。機械検査作業では、滋賀職業能力開発短期大学の講師にお越しいただき、測定理論や手順について学んだ。



図8 指導の様子

(イ)電気科電気系

第二種電気工事士および第一種電気工事士の資格取得を目指し、企業内研修所で講師をされている方をお迎えし、資格取得のための学科対策や実技のご指導をしていただいた。また、滋賀職業能力開発短期大学校において、シーケンス制御の講習を2日間計6 時間受講した。いずれの授業にも生徒たちはとても熱心に取り組んでいた。



図9 指導の様子

(ウ)電気科情報系

プロジェクションマッピング実施に向けたプログラム学習に取り組んだ。1 月には制作した作品を本校校舎壁面に投影し、投影位置、色彩、見栄えなどを確認した。また、その様子を運営委員会において披露した。

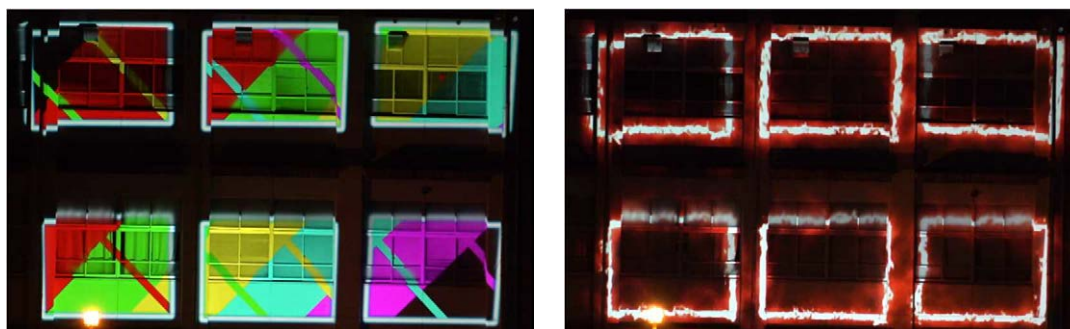


図10 本校校舎への投影の様子

(エ)建設科

建築系大学進学を目指す生徒を対象とし、大学で講師をされる方をお迎えして、建築パース着彩・3D- CAD について取り組んだ。建築パース着彩では透視図法、作図練習、着彩実習を行った。3D- CAD ではモデリング、レンダリング、建築プレゼンテーションを学んだ。



図11 指導の様子

ウ ブラッシュアップ英語(2年生対象 学校設定科目)

県内では製造業における外国人労働者の割合がコロナ禍においても増加傾向であることや製造業においても海外勤務や海外取引に関わる可能性があることから、外国人とのコミュニケーションスキルの必要性が高まっている。ブラッシュアップ英語は英語に興味のある生徒の選択授業で、彦根市にあるミシガン州立大学連合日本センターから講師をお迎えし、学習に取り組んだ。この学習を通して生徒自身の意見や考えを英語で伝える発信力を身に付けると共に、語学力だけでなく交流から異文化を学ぶことも重視した。これらの取組の成果として、長年合格者が出ていなかった英語検定準2級および3級に複数の合格者を出すことができた。



図 12 授業の様子

(ア)異文化交流 2月16日

ブラッシュアップ英語を選択する生徒が英語と他国の文化を学ぶため、ウクライナの家庭料理「グレンキ」作りに挑戦した。講師としてウクライナの家庭料理をキッチンカーで販売されているイリーナさん・カテリーナさん親子をお招きし、調理工程を英語で説明していただいた。また、ミシガン州立大学連合日本センターからステフ講師、一般社団法人インパクトラボからお二人の方にもお越しいただき、和気あいあいとした雰囲気の中で英語を学ぶことができた。

生徒もつたない英語ながらもジェスチャーを交えて、講師と会話する姿が見られた。



図 13 英語による調理実習の様子

(イ)英語で SDGs を学ぼう 2月17日

以前から本校の SDGs、MLGs についての学習をサポートいただいている一般社団法人インパクトラボから講師をお迎えし、英語で SDGs についての学習を行った。講師

のお二人の経験も交えながらクイズ形式で SDGs に関わる学習を行い、最後には自分たちのできることを紙に書いて発表した。SDGs について学びながら、それらに関わる英単語などわかりやすく解説していただいた。



図 14 英語による授業の様子

エ プロGRESS実習の試行(令和5年度の3年生対象 学校設定科目) 4月～12月

2年生ブラッシュアップ実習を履修する生徒が3年生進級時に履修する学校設定科目で、令和5年度の本格実施に向けて、今年度はモデルケースづくりのために産業実務家教員の所属される(株)清水合金製作所様に4名の生徒がお世話になった。週1回6時間の時間を使って、年間20日程度の実習を実施した。4月から新入社員と同等の研修が始まり、その後は開発部門や製造部門の改善業務に関わらせていただいた。参加した各生徒には担当講師となる社員の方についていただき、企業における現場の課題解決にかかわる実習を経験させていただいた。また、参加した生徒はプロGRESS実習を通して工業分野への興味が高まり、もっと学びたいと進学を希望するようになった生徒も出てきた。

- ・実習場所 (株)清水合金製作所
- ・対象生徒 機械科 3 年生 4 名
- ・期 間 4月から12月 年間約 20 回 (20日)
- ・実習内容 バルブ・水処理装置の改善、生産現場の作業効率及びの品質改善 等



図 15 実習の様子

オ 長期インターンシップ 7月11日～7月25日

「長期インターンシップ」として、2年生に従来の3日間コースに加え5日間から10日間のコースを新設した。実施にあたっては彦根商工会議所、彦根市役所と連携し、滋賀県湖東地域を中心とした産業界の協力を得て、地域の企業等の実践の場で、自身が「何がどれだけできるのか」を試し、鍛える機会を作り、産業人としてのたくましさを身に付けることを目的とした。特に10日間コースでは単なる体験ではなく、可能な限り企業が抱える課題解決におけるスタッフ職の一員として受け入れてもらえるような体験となるよう事前に企業に依頼した。生徒各自には、事前指導において実習先企業に合わせたテーマを持たせるようにし、主体的に課題に取り組み、解決へと導く力を育成できるように工夫した。

また、企業が実施する SDGs に関する取組等、社会貢献活動について学ぶ絶好の機会となった。

<参加実績>

日数	企業数	生徒数
4～5 日間	20 社	41 名
7～9 日間	9 社	14 名
10 日間	17 社	31 名
上記合計	46 社	86 名
3 日間	79 社	135 名
総合計	125 社	221 名



図 16 実習先での様子

カ プロジェクションマッピング

3年生電気科情報系の課題研究でマルチメディア班12名が彦根城や玄宮園で撮影した映像をプロジェクションマッピング用に編集し、校内で動画の選考会と発表会を行った。彦根市企画振興部・産業部のお二方をお招きした選考会では映像をご覧いただき、多くの助言を頂戴した。また、本校職員に向けてテーマや工夫した点を加えながら発表した。いずれの作品も今まで学習したことを生かし、見ごたえのある映像に仕上げることができた。

また、同作品を本校建設棟校舎壁面にて、さらに別の日に彦根市の協力の下、彦根市役所の壁面に投影した。生徒作品の他に、彦根市が全国に誇るゆるキャラ『ひこにゃん』などの画像も投影し、投影位置や色彩などを確認した。彦根市役所前を通行される方が足を止めて見学される様子も伺え、今後の動画製作のモチベーションが向上した。



図17 学校での発表及び彦根市役所壁面への投影

キ カンパニー活動

少人数のグループで、ものづくりや社会に貢献できる企画を自分たちで考え取組を進めた。工業高校生の持つオリジナリティーを大切にしながら、経営者的な視点を持って未来の産業社会に携わるための力や企画力、オーナーシップを育てることを目標とした。

(ア)「ものづくり×SDGs」 彦根商工会議所青年部協力企画

課題解決について学ぶために、令和4年2月に彦根商工会議所青年部の会員企業にそれぞれの企業おける困りごとについてのアンケートに協力いただいた。アンケート結果からカンパニーごとに取り組みたいテーマを決め、工業高校生視点で解決案を立案し発表した。合計6カンパニーが取り組み、各5分程度の解決案をまとめた企画動画をYouTubeで配信し、青年部から評価や助言をいただいた。その後の彦根商工会議所青年部のイベントにも招待していただき、各カンパニーの取り組み発表やSDGsについてのディスカッションに参加し交流を深めた。自分たちの取り組みが企業から評価されることで自己肯定感が高まったと感じている。

(イ)「カーボンニュートラルを学ぶ」 滋賀県立大学等連携プロジェクト

～バイオ技術と工学技術を用いた環境循環型社会に向けた実験～

昨年に引き続き、滋賀県立大学や企業との連携プロジェクト「カーボンニュートラルを学ぶ」に取り組んだ。これは、微生物であるユーグレナを混合した培養土で育てた菜の花から始まるカーボンニュートラルの取り組みである。

①菜種・ひまわり種の収穫・栽培

搾油用の菜種、ひまわり種を収穫した。(株)ユーグレナ様から提供を受けたユーグレナを混合した培養土と通常の培養土を比較した結果、ユーグレナを混合した培養土で育てた植物の方が種の収穫量が多いことがわかった。



図18 栽培・収穫の様子

②バイオプラスチック製品の開発

・菜の花レジンの製作

菜種を搾油したときの搾りかす(残渣)の活用方法を模索する中で、バイオプラスチックの原材料の一部として利用することを考え、(株)バイオマスレジホールディングスに残渣を10%配合した菜の花レジンペレット(PLA)を製作していただいた。

・ネームプレート・偉人名言プレート・小倉百人一首の製作

滋賀県東北部工業技術センター長浜庁舎の施設を借用し、菜の花レジンペレットをプレート状に加工した。カーボンニュートラルの取り組みを知っていただくために、プレートをネームプレートに加工し、滋賀県知事含め多くの方々に贈呈した。また、「近江マイスター」で学んだ近江商人や企業創業者の方などの名言が印字された偉人名言プレートを製作した。そのプレートは本県のふるさと納税制度の返礼品に登録され、報道にも取り上げていただいたことで大きく注目された。



図19 副知事へのプレート贈呈

さらに取り組みの発展として、1年生が国語の授業で学ぶ小倉百人一首のかるたをバイオプラスチックプレートで製作した。かるたはテーマごとに分類し、それぞれのテーマに応じた飾りもバイオプラスチックで製作した。製作したかるたは小倉百人一首の全国大会で有名な近江神宮や紫式部ゆかりの石山寺にも展示し、こちらも報道から大きく取りあげていただいた。



図20 近江神宮および石山寺での展示

ク マイスター防災キャンプ 12月16日、17日

防災教育を通じて地域のリーダーになる資質向上を目的としたマイスター防災キャンプ実施した。彦根市役所危機管理課の協力の下、本校や地域の体育館が避難場所になることを想定した訓練や避難所での防災食・宿泊体験、コミュニケーション研修を通して自分や他人を認め合う体験を行った。二日間を通して、参加生徒は普段の学校生活では関わることのない生徒同士や外部機関との交流を経て、防災に関する知識を身に付けることができた。



図21 キャンプの様子

ケ ドローン講習 10月、11月、2月

彦根商工会議所の協賛を受けて、マイコン部の希望者10名がドローンに関する講習を受講した。講習では、手のひらサイズのマイクロドローンとよばれる機体を生徒の手で自ら製作した。製作した機体を使って飛ぶ仕組みや基本的な操作方法を教わり、飛行練習をした。最初は目視飛行から始まり、習熟してくると First Person View (FPV) と呼ばれるゴーグルをつけた状態での目視外飛行の練習をした。製作した機体は校内文化祭のマイコン部コ

一ナーにて展示・披露し、活動内容を紹介した。次年度以降も部活動として継続し、後輩へのノウハウ伝授も含め技術の継承を進める。



図22 講習の様子

コ 研究成果の公開・普及

(ア) 指定校による「中間成果発表会」(文部科学省主催) 11月7日

各地域における特色ある取組の成果と今後の展望について発表する文部科学省主催の令和4年度中間成果発表会が、令和4年11月にマイスター・ハイスクール指定校16校をはじめ約200名参加のもとで開催された。本校は、「変化への挑戦(Challenge for Change)～進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人財の育成～」をテーマに、これまでの様々な取り組みを発表した。本校からの参加者は、他校の興味深い成果を聞く中で本校に置き換えてできることは何かを考え、これからの取り組みを見つめ直すとても良い機会となった。この場で得たことを生徒に還元し、本校が工業高校のモデル校となれるよう、引き続き変化への挑戦を実行する。



図23 成果発表の様子

(イ) 成果発表会(本校主催) 2月22日

令和5年2月に成果発表会をひこね市文化プラザにて開催した。第一部では、各学年代表者が工業各科の課題研究の取組やインターンシップでの就業体験、マイスター・ハイスクール事業の取組紹介などを発表した。関係事業所や関係機関・学校機関から約90名、本校生徒などを含め総勢約600名の参加のもと、発表生徒は大勢の前で発表という今までにない経験をした。第二部では、株式会社アスタリスク代表取締役社長鈴木規之様より「人生成功のコツと、会社設立の勧め」と題した講演をしていただいた。



図24 成果発表および講演の様子

(ウ) 広報活動

研究の取り組み状況や様子などを従来の Web ページに加え、新たに Instagram などの SNS ツールを利用し、より多くの世代向けに目が触れるよう工夫し情報発信した。また、広報誌「GENKO 通信」を年間通して発行し、Web ページ上で公開した。また、取組の様子がテレビニュースや新聞などメディアに何度も取り上げられ、県民から大きな反響を得るなど本校の活動を知っていただく良い機会となった。

さらに、本事業の一環で学校独自の PR 動画を作ることになり、撮影のために株式会社ソフィア(※)様から2名の担当者が来校され、2日間に渡りプロの視点で動画の撮影が行われた。出演した生徒は緊張の面持ちながらも本校の PR に努めた。

※ 株式会社ソフィア・・・文科省から指定を受けた本事業の伴走支援受託会社



図25 PR 動画撮影の様子

サ 各種委員会の開催

(ア) 運営委員会の開催 6月20日および2月10日

令和4年6月及び令和5年2月に運営委員会を開催し、マイスター・ハイスクール事業の研究計画・研究内容の妥当性や方向性についての協議、実施にあたっての指導・助言、各事業の評価及び研究全体の評価とその妥当性等について議論した。

(イ) 事業推進委員会の開催 6月14日

令和4年6月に事業推進委員会を開催し、マイスター・ハイスクール事業全体の流れと各事業の関連性についての指導・助言、事業ごとの評価及び研究全体の評価等について議論した。(令和5年1月開催予定の第二回目は大雪のため中止)

(ウ)MHS 校内推進委員会の開催

本校内での研究計画・研究内容の検討・実行・検証や校内全体への周知・一体化等を目的として、CEO、産業実務家教員、マイスター・ハイスクール推進室員、工業科各科長、教務部長、学年主任で構成する MHS 校内推進委員会を立ち上げた。委員会は毎月1回開催し、各取り組みの進捗状況や課題の共有化を図り、事業が円滑に進むよう必要な調整を実施した。

3 令和4年度の成果

(1) 教育課程の新規開設

令和4年度に学校設定科目「ブラッシュアップ実習」及び学校設定科目「ブラッシュアップ英語」を新規開設し、年間計画に従って予定通り授業を進めることができた。また、令和3年度に開設した学校設定科目「近江マイスター」も発展・進化した様々な内容で進められた。

さらに、令和5年度新設予定の学校設定科目「プログレス実習」の試行においても、モデルケースとなる取組事例ができ、新たな実習先開拓に大いに役立った。

(2) 長期インターンシップ

滋賀県湖東地域を中心とした産業界125社の協力を得て、2年生全員がインターンシップに参加した。生徒はインターンシップに参加することで様々な気づきの中から自分が将来なりたい姿を見つけるヒントを得て、今後の学生生活を充実させるような体験ができた。また、実習先となる企業、関係機関の新規開拓が多数行われたことで、次年度以降も様々な職種の実習先から選択できる体制が整えられた。

(3) 課外活動 カンパニー活動

令和3年度から取り組んでいる生徒主体の課外活動であるカンパニー活動を近隣の大学や企業と連携しながら取り組みを深めてきた。生徒はこの活動を通じて多くの大人や社会から認めもらえるなど、生徒の非認知能力向上に効果があったと考える。

(4) 広報活動

様々な取組成果が多くのメディアに取り上げられ、ものづくり技術者を目指す生徒の自己肯定感や自己有用性を高めることになったと考える。

4 次年度以降の課題及び改善点

令和5年度は事業最終年度の総仕上げと事業終了後の令和6年度以降の自走化にむけた自走化エコシステムの構築の両方が求められる。運営にあたっては、自走化を見据え事業の取捨選択を検討するなどアクセルとブレーキの双方を勘案した判断が求められることが予想される。その中でも重点的に進めなければならない課題は以下の通りである。

(1)管理機関を中心に産官学が一体となった共創体制づくりとその継続

管理機関(彦根商工会議所、県、彦根市)おのおのが主体者意識をもって、自走化のため本事業に関わり、彦根工業高校をサポートしていく共創体制づくりを進める。

(2)教員や事業予算の持続的・安定的な確保

自走化のための持続的かつ安定的な教員および事業予算の確保を進める。予算確保にあたっては、県財源確保、クラウドファンディング、滋賀応援寄付、独自寄付金等を検討する。

5 関係資料

(1) 委員会報告

ア 令和4年度マイスター・ハイスクール事業 第1回事業推進委員会 会議概要

日 時 令和4年(2022年)6月14日(火)14時00分～16時00分

場 所 滋賀県立彦根工業高等学校 セミナーハウス

出席者 推進委員

滋賀県教育委員会事務局関係者

滋賀県立彦根工業高等学校関係者

議 事 (1) 令和4年度取組計画

(2) 話題提供 「公立高校の地域における役割や価値について」

議事概要(意見抜粋)

・話題提供で、島根県大森町で空き家を働き手の住まいにする「中村ブレイス(株)」の取組報告があったが、都市部からの若手移住などのモデルであり、今般問題となっている地域地盤産業衰退の対策として参考にしていきたい。

・ブラッシュアップ実習についての進捗はどうか(生徒の意欲等)。

→機械科:旋盤技能検定3級を目指しているが、危険な作業でもあるので、慎重に進める必要があると考えている。

建設科:従来は3年生で行っている実習や課題研究の内容を前倒して2年生で実施している。生徒は、事前に面接の後受講しているので、取組態度は前向きである。

・県工業技術センターとしても協力をさせていただきたい。センターを通じて、利用者(中小企業等)と交流していただけるとよい。また、企業なんでも個別相談会を活用していただければと考えている。

・長期インターンシップ先の30～40社の研修先はどのように集めるのか。

→滋賀県立大学や彦根市にもお願いしたいと考えている。

・地元で研修先を探すのだろうが、彦根以外でもよいのであれば県としても協力する。

→彦根市以外でもお願いできればと思っている。実際、県の土木からのインターンシップの依頼をいただいている。

- ・ 県立大学としても研究室インターンシップは2学期以降であれば受入れ可能である。また、ブラッシュアップ英語の取り組みに対しては、本学では留学生が来日可能になったので、母国語で話している留学生との多言語の交流はどうか。国際化推進室が窓口で韓国、中国、スペイン、ドイツ、フィリピン等が可能である。
→異文化理解の観点で是非お願いしたい。
- ・ プロGRESS実習について、20日間の長期実習は課題が多く、綿密な計画と、双方（企業や大学と学校）のメリットが必要と考える。
→企業版実習のデュアルシステムでは、（株）清水合金製作所において生徒3人が試行で実習（1日/週、1年間で20回程度）する計画である。社員と同様に通常の仕事を担うのは困難であるので、新入社員と同じような研修スケジュールから始めて、長期で受け入れられるように工夫している。基礎学力も確認しながら、1年間（20回で可能な課題テーマを与える）のスケジュールを決める。
→会社側の本校事業への理解が必要な取組である。特に社員が生徒の面倒を見るので、社員の業務の停滞が発生する懸念がある。
→企業側メリットとしては、社員の生徒への新しい教えかたの発見やスキルアップが見込める。
- ・ 研究成果のデータ化については、何かあてになるシステムがあるのか。
→人間力が非認知能力の例と考えている。埼玉県教委が取組されているものを参考にさせていただき、データ分析に関しては滋賀大学とも連携することを検討している。生徒の変容が見える化する必要があると考え、自走化を視野に入れ、今後必要な取組を選択することに活用できればと考えている。
- ・ ブラッシュアップ実習について、高度な資格試験に合格、工業系大学に進学する、とあり、特に工業系大学進学をぜひとも実現してほしい。
- ・ 事業所は高度な資格試験に期待している。また、ドローンの取り組みも是非実用可能なところまで頑張してほしい。

イ 令和4年度マイスター・ハイスクール事業 第1回運営委員会 会議概要

日 時 令和4年(2022年)6月20日(月)15時00分~17時00分

場 所 滋賀県立彦根工業高等学校 セミナーハウス

出席者 運営委員

滋賀県教育委員会事務局関係者

滋賀県立彦根工業高等学校関係者

議 事 (1) 令和4年度取組計画

(2) 話題提供 「公立高校の地域における役割や価値について」

株式会社 Prima Pinguino (プリマペンギノ) 代表取締役

産業能率大学経営学部教授 藤岡 慎二 様

議事概要(意見抜粋)

- ・ブラッシュアップ英語では、何か具体的な目標があるか。
→現在、32名しており今後2年間で英語検定準2級資格も取れるように進める。
また、就職後の実社会で英語が必要となる場面が多いので、それに対応できるように外国文化に触れるなど多様性の育成に努める。
- ・長期インターンシップの事前教育はしているのか。
→企業6社から講師を招聘するなどして複数回行っている。
- ・伝統技術を学ぶ取り組みも大切である。彦根市以外とも関わりが必要ではないのか。
→彦根市を柱としているが、彦根市以外とも関わりを持っている。
- ・彦根城の世界遺産登録について、建設科の生徒ならではの視点で魅力を創造し発信することなどの取組をしてみてもどうか。
- ・鉄道や自動車等、移動手段の発展について、例えば無人バスに老人が安心して乗れるための技術や発想を考えるなど取り組んでみてはどうか。
- ・アントレプレナーシップについて、身近な存在に話が聞ける機会の確保(市長自らの講演を含む)をしてみてもどうか。
- ・アルバイト先で職業教育してもらい、地域の企業にも本事業に参加する意識をもってもらえるようにできればよい。

- ・体験して学ぶことが非常に重要で身になる。彦根市の課題を発見してもらいところから始める。若い目で見えた課題発見と課題解決に協力できればよいと思う。例えば、生ごみ処理の課題解決（補助金等も得られるかも）などある。
- ・動画発信のためのマルチメディア系高度アプリを使いこなせる職員がいない。若いころから親しんでおけば即戦力になると考える。

ウ 令和4年度マイスター・ハイスクール事業 第2回運営委員会 会議概要

日 時 令和5年（2023年）2月10日（金）14時30分～16時30分
 場 所 滋賀県立彦根工業高等学校 セミナーハウス
 出席者 運営委員
 滋賀県教育委員会事務局関係者
 滋賀県立彦根工業高等学校関係者
 議 事 (1) 令和4年度取組報告および令和5年度取組計画
 (2) 令和6年度以降の取組

議事概要（意見抜粋）

令和4年度取組報告について

- ・コロナ禍で苦労されたことを聞きたい。また、生徒の感触や感想も聞きたい。
 →事業に協力いただける企業探しに苦労した。
 →マスクにより生徒の顔が覚えにくい。デュアルでは企業にも社員の成長など大変メリットがあったと感じている。
 →生徒コメント
 コロナにより（マスクをしているため）、うまくコミュニケーションがとれないことがあった。しかし、学校では体験できないことが体験できて楽しく、貴重な経験であった。今後は短期大学校に進学し、さらに学びを深めたい。短期大学校の2年間でその先を考えたい。
- ・自身が高校生だったころに比べて生徒の学びの選択肢が増えていると感じる。
- ・自身も過去に、企業に在籍していた。この事業を通して高度な学びが実施できていると思う。技術やテクニックを高校時代に学べることはよいことであり、校舎の中での学びと実際は異なるのでそれが学べるのが素晴らしい。
 →令和4年度は具体的な事業を進められたと感じている。まだまだ、子どもたちに学ばせたいこと、子どもたちが学びたいことがたくさんある。

- ・プロジェクションマッピングはどうかすれば目標が達成できると考えているか。また、今はどの段階にいるのか。
→この事業に協力いただいている企業をプロジェクションマッピングで紹介することが目標であったが、困難な技術であった。3Dアニメーションによる企業紹介が目標である。
- ・長期インターンシップ（期間が長くなったことで）により、今までとの生徒の学びの違いはなにか。
→より深く中身のある体験ができたと考えている。
- ・インターンシップでは安全意識の指導が大切と考える。安全はすべてに優先される。

令和5年度取組計画について

- ・滋賀県では今後20数か所の大型物流センターが立地される計画である。近隣空港から2時間の立地であり、物流拠点の需要が高まっている。キントーでのインターンシップでは物流倉庫での体験をお願いした。ICTを使った物流など生徒は興味を持っている様子であった。本事業でも検討いただければよいのではと考える。
- ・プロジェクションマッピングとドローンとの組み合わせはどうか。彦根商工会議所では企業と一緒に彦根城世界遺産に関する取組を検討しているので、生徒も参加できれば良いのではないか。
- ・高校生のスタートアップの取組はMHSと相性が良いと思うので、検討いただきたい。（近江商人である伊藤忠は江戸時代のスタートアップ企業の事例である）
- ・滋賀大学データサイエンスが関西の拠点となり統計推理研究所とコラボしてやっている。統計検定への取組はどうか。アナログ部分をデジタルする視点でいろいろ考えることが大切である。
→参考にさせていただき、取組に組み込むことを検討していく。
- ・各科共にWeb3.0（仮想空間）の技術を学習することが必要になってくるのではないか。

- ・将来の社会の変化が予想できないからこそ、学び続ける力、好奇心を持つことがポイントである。
- ・いい製品を製作するためには、STEAM教育のA (Art) について、社会のみんながどんなものに興味があるのかをつかむこと、それを学ぶことが大切である。

令和6年度以降の取組について

- ・ひとものかねが揃う必要がある。県とタイアップして実施したい。
- ・いくら必要か。企業から寄付金を募ることも視野に入れるとよい。
- ・大学の工業高校卒の予算がある。
- ・今夏ぐらいまでに一定の方向性をつけていかないといけないと考えている。企業経営に無理のないようにしてお願いしていく。今後の滋賀を支えるこどもを育てていきたい。

(2) 広報記録

ア GENKO通信

GENKO

通信

文部科学省
次世代地域産業人材育成刷新事業（R3～R5）
マスター・ハイスクール事業

Hikone Technical High School

令和4年度 年間まとめ

滋賀県立彦根工業高等学校 総務部工業課
〒522-0222 彦根市南川瀬町 1310
Tel 0749-28-2201(代)

4/12 『マスター・ハイスクール事業』 オリエンテーション（1年）

於:本校体育館

新入生オリエンテーションの一環でマスター・ハイスクール事業についての説明や昨年度の取り組み、今後の選択教科について、青木 CEO と本事業推進担当者から説明を行いました。新入生は様々な観点で、本事業に興味を示してくれました。新入生にとって魅力的なものになり、将来の地域を担う産業人の育成を目指して、本事業を推進していきます。

4/13～ 『マスター・ハイスクール事業』 ブラッシュアップ実習スタート！（2年）

於:各科実習棟他

マスター・ハイスクール事業での本校の新しい取り組み、ブラッシュアップ実習がスタートしました。ブラッシュアップ実習とは、生徒のより学びたい気持ちをサポートするため高度技能の習得や資格取得を外部講師の指導により目指す選択実習です。

機械科では、技能検定 機械加工（普通旋盤作業）3級合格に向けた取り組みに令和3年度滋賀県技能者表彰（おうみの名工）を受賞されたヤンマーパワーテクノロジー社 清水様を講師にお迎えしました。初回は2年生の選択者を対象に、技能五輪への出場や指導の経験から本校生徒に身につけてほしい資質についてや企業で取り組まれている安全活動、KYT、5S 活動について講義形式でお話いただきました。その後、工場に場所を移し、切削工具や測定工具の使用法、旋盤の安全作業についてご指導いただき、3級の課題を実演しながら説明していただきました。これから、複数回に渡り指導をしていただきますので、合格を目指して努力していきます。

電気科では第二種電気工事士の資格取得を目指し、陣子富二夫様を講師としてお迎えしました。初回の1時間目は、資格取得のための取り組み方を生徒に講義形式でお話していただきました。2時間目以降、5月末まで教回にわたって、筆記試験の対策講座を実施していただきます。今後、7月末の技能試験へ向けて6月から7月にかけて、実技試験対策を行っていただきます。

建設科では、建築物の完成予想図（パース）の描き方と着色について学んでいます。講師にはポリテクカレッジでも指導員をされている滋賀県建築士会会員の新島先生をお迎えしています。パースを描くための基本として立体が想像でき、更に実際の建築物がどのように見えるかを正確に捉えることが重要です。そのために、立方体を製作し、その形を正確にとらえる模写からはじめます。また、手のひらの骨の位置を確認しながら自分の手を描いたり、太陽光が当たる面と当たらない面の建築物にかかる陰影等も学んでいます。写真はCADを使った透視図法の学習の様子です。1点透視図法のと2点透視図法を学んでいます。今後は建築物の透視図に着色する学習へと進めます。設計した建築物のパースによって、建築物全体のイメージが誰にでもわかるように2次元の平面で表現することの大切さを学んでいます。

現場見学会（4/22・草津市・3年建設科）

たち建設株式会社様および吉野組様の主催で、3年建設科の生徒が、草津市の草津用水2期地区用水路工事の現場を見学させていただきました。この見学会は、たち建設株式会社様のご厚意により平成30年よりスタートし、今回で4回目となりました。コロナ禍の中密にならないようバスを2台に分かれて移動しました。現場では3班に分かれ、鋼矢板で地盤をせき止め大きな重機で掘削する様子や管をつなぐ場面など、工事箇所のすぐ傍で見学させていただきました。生徒は工事について興味深く観察し、質問も積極的に行い、今後の進路選択に役立つ実のある見学となりました。

4/27 『マスター・ハイスクール事業』 学校設定科目「近江マスター」始動！（1年）

於:本校体育館

昨年度からスタートした1年生対象の学校設定科目「近江マスター」の授業を行いました。初めに青木先生（マスター・ハイスクール CEO）、橋岡先生（産業実務家教員）からの「マスター・ハイスクール事業を学ぶ意義」や「地元彦根の産業」、「社会人になるために大切なこと」などの講話を受けました。次に本校マスター・ハイスクール推進室の古市先生から、これからのSDGsやMLGsに関する取り組みや、「ルーブリック評価」についての説明がありました。ルーブリック評価表を用いて、到達目標や到達度を明確にし、教員・生徒の相互評価を行います。

- 27 -

校外学習 (5/2・1年国民休暇村他・2年名古屋方面・3年USJ)

今年度は3年ぶりに県外への校外学習が実現しました。感染対策を十分に行い、各学年とも計画的に行動し、とても充実した一日を過ごすことができました。



5/20 『マイスター・ハイスクール事業』カンパニー活動「カーボンニュートラルを学ぶ」続報 (1年)



昨年度から取り組むカンパニー活動「カーボンニュートラルを学ぶ」の取り組みとして、種子油の抽出を目的としてひまわりの種を植えました。今回も市販の培養土とユウグレナを混合した培養土の2種類の土で生育状況について観測します。夏には満開のひまわりが前庭を華やかにしてくれることを期待しています。生育中の菜の花もそろそろ菜種が取れる時期となり、本格的な学習ができる準備が整ってきました。菜の花は油の抽出だけでなく、バイオコックスやバイオプラスチックの原料としての利用も模索しています。



体育祭 (6/9・本校グラウンド)

天気にも恵まれ、無事に開催することができました。競技の前に円陣を組んで気合を入れたり、クラス・学年を超えて一丸となって応援する姿が印象的でした。生徒会・各部の皆さん、暑い中本当にお疲れ様でした！



若年者地域連携事業・企業見学 (6/14・3年生)

滋賀経済産業協会様のご支援で、県内企業 22 社の見学をさせていただきました。コロナ禍により、大人数での見学が難しい中、多くの企業様にご協力いただくことができました。実際の工場や現場での作業などを知ることができ、進路選択に向けて貴重な体験となりました。

〈見学先企業〉 アルテミラ製缶(株)滋賀工場【旧:ユニバーサル製缶(株)】 アルテミラ(株)彦根工場【旧:昭和アルミニウム缶(株)】
 (株)吉野工業所滋賀工場 (株)村田製作所八日市事業所 アストラゼネカ(株)米原工場
 (株)天辻鋼球製作所滋賀工場 三菱ロジスネクスト(株)滋賀工場 アイリスオーヤマ(株)米原工場
 パナソニックホームズ(株)湖東工場 (株)ナイキ彦根工場 ITO(株) 共栄社化学(株)滋賀工場
 大東電材(株)彦根事業所 (株)木の家専門店谷口工務店 東レ・カーボンマジック(株)
 (株)ダイフク滋賀事業所 大阪シーリング印刷(株)滋賀工場 ダイニック(株)滋賀工場
 (株)清水合金製作所 愛荘町役場 (株)ブリヂストン彦根工場 廣瀬パルプ工業(株)



ものづくりコンテスト (6/12・旋盤・6/18・電気・木工)

3部門に出場し、本番では緊張しながらも練習の成果を発揮することができました。本校で行われた「木材加工部門」では、3年建設科の長江さんが優勝しました。2位松宮さん、3位松田さんの3名が近畿大会へ出場します。



インターンシップ事前学習会 (6/22・本校各教室・2年生)

クラス毎に企業様から講師をお招きし、インターンシップの心構えや、将来の進路選択に繋がる色々なお話を聞く事ができました。講話後の意見交換会では、「真剣に話を聞いてもらえた」と良い印象をもっていただけだったので、インターンシップが有意義な体験となるよう、期待しています。



- | | |
|----|---------------|
| M1 | 株式会社ブリヂストン |
| M2 | 株式会社村田製作所 |
| M3 | 滋賀日野自動車株式会社 |
| E1 | 大東電材株式会社 |
| E2 | 大阪シーリング印刷株式会社 |
| C | たち建設株式会社 |

- 「高校生活ですべきこと、伝えたいこと」
- 「社会人とは」
- 「自分の進路は自分で決めよう ～後悔しない就活とは～」
- 「働くとは ～インターンシップを通して学んで欲しいこと～」
- 「社会人としてのマナーや働くための準備」
- 「将来に向けて今できること」

7/7 『マスター・ハイスクール事業』 選択科目説明会（1年）

於:本校体育館・HR



1年生を対象に選択教科説明会を行いました。始めに教務部より進路選択や将来についての話や選択教科全体の説明がありました。次にマスター・ハイスクール担当から新しく開講されたブラッシュアップ実習、ブラッシュアップ英語について説明が行われました。



7/7 『マスター・ハイスクール事業』 プロGRESS実習(デュアルシステム実習)（3年） 於:清水合金製作所



マスター・ハイスクール事業で令和5年度からの実施を目指すPROGRESS実習（企業における通年のデュアルシステム実習）の試行として機械科3年生の4名が橋岡先生（産業実務家教員）の所属される清水合金製作所に週1回、年間約20回のスケジュールで現地実習を行っています。4月当初は新入社員研修に近いプログラムを実施していただきました。現在では製造現場での実習や工程管理の研修など多岐に渡る実習を実施していただいています。今回は清水合金製作所のグループ企業であるKITZ 茅野工場の見学に伺いました。見学では日本最大級の青銅バルブ工場におけるDX事例やイノベーションセンター及び持続可能な水運用事例について学びました。



7/10 『マスター・ハイスクール事業』 カンパニー活動「ものづくり×SDGs」（2年） 於:各科実習棟他

彦根商工会議所青年部のイベント「Hikone Work Academy ～語り合おう私たちの未来について～」に参加

現在、2年生の有志が彦根商工会議所青年部と連携したカンパニー活動「ものづくり×SDGs」に取り組んでいます。このカンパニー活動は企業の「困りごと」を工業高校生視点で解決するアイデアや新商品を企画・立案し提案するものです。昨年度2月から取り組み、5月には6つの企画動画を提案しました。今回はその取り組みを行った生徒の中から資格試験受験者を除いた11名が彦根商工会議所青年部が主催するイベント「Hikone Work Academy～語り合おう私たちの未来について～」に参加しました。イベントの第一部として各団体におけるSDGs活動発表が行われました。企業や大学生、その他の高校生も発表する中、本校からは滋賀県立大学や企業と連携するプロジェクト「カーボンニュートラルを学ぶ」について発表しました。二部では参加された方々とSDGsについてのディスカッションを行いました。生徒は「ものづくり×SDGs」で取り組んだことやこれまでの経験を交えながら交流ができました。ディスカッション後にはグループを代表しての発表もしてくれました。多くの企業の方や様々な取り組みをする大学生と交流した経験を生かし、今後の活動が充実されることを期待しています。



インターンシップ実習（7/11～7/27・125 事業所・2年生）

7/8の放課後に結団式があり、校長先生・工業課主任・学年主任より、インターンシップについての心構えや注意事項などのお話がありました。今年度は3日～最長10日間の日程でインターンシップが行われ、安全面のお話や、学校には置いていない機械等の操作、普段の授業では経験することのない作業など、貴重な体験となりました。実習を通じて感じたこと、学んだことを、今後の進路に生かして下さい。企業様には、ご迷惑をおかけしたこともあったと思いますが、色々ご協力いただきありがとうございました。



出前授業（7/12・城陽小学校・3年電気科1組）

電気科の電気実習の一環として、小学校6年生を対象に「電気と発電の利用」について、3年生11名が授業を行いました。電流の実験でフレミングの法則について説明をしたり、水力・火力・風力・太陽光などの発電システムについても話をしました。



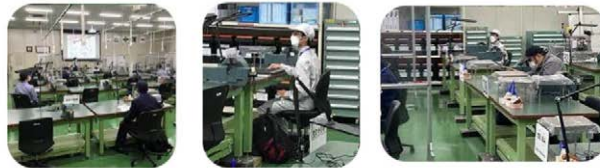
親子木工教室 (7/16・彦根市子どもセンター・木工部)

今年も 15 組の親子を対象に、子ども椅子製作を実施しました。部員はちびっ子達を相手に、優しく、分かりやすく、ケガさせないように気をつけながら、のこぎりの使い方や釘の打ち方を教えていました。汗だくになりましたが、ちびっ子からの「ありがとう！」の一言で疲れも吹き飛びました！

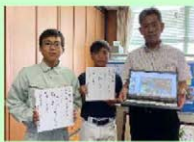


パナソニックものづくり学校 (7/25～・草津市・機械科)

本校教諭 1 名、機械科 1 年生 2 名が 8 日間、
 保全作業の基礎となるヤスリ加工の習得、PDCA
 の活用により自己の成長、5S (整理・整頓) の
 実践を通じて、ものづくりの基本・仕事の基本・生
 活の基本を学びました。



8/1 『マイスター・ハイスクール事業』カンパニー活動「カーボンニュートラルを学ぶ」(2年)



カンパニー活動「カーボンニュートラルを学ぶ」では活動の一環で菜の花を含有した
 バイオプラスチックで製作したネームプレートづくりを行っています。
 昨年にご訪問いただいたご縁もあり、中條副知事のネームプレートを製作しお渡しし
 たところ、生徒へ活動の応援とお礼のメッセージをいただきました。ありがとうございました。



中学生見学会 (8/18・本校・3科)



500 名を超える中学生・保護者の参加があり、2・3 年生の授業や実習の様子を見学してもらいました。各科それぞれの特色を分かりやすく説明してくれ、「説明が丁寧でよく分かった」「色々な科目があり楽しそうだった」(中学生)「実際の実習の様子を見て、子供が具体的なイメージを持つことができた」「各科の違いがよく分かった」(保護者)など、大変参考になったと好評でした。女子生徒や保護者の方には新しくなったトイレも好評でした。

配管技能コンテスト (8/20・大阪市・2 年建設科)

大阪府立東大阪高等職業技術専門学校で第 12 回配管技能コンテスト大阪大会が開催されました。学生の部で 2 年建設科の吉田陸入さんが 4 位に入賞しました。おめでとうございます。



ものづくりコンテスト近畿大会【木工部門】(8/27・本校)

本校で開催された「高校生ものづくりコンテスト近畿大会【木材加工部門】」にて、3 年建設科の長江湖白さんが優勝しました。県大会後、木澤工務店様より講師をお招きして、技術を学び繰り返し練習をしました。長江さんは 11 月に富山県で開催される全国大会に出場します。がんばってください。

結果は次の通りです。

優勝	3 年 建設科	長江湖白さん
準優勝	3 年 建設科	松田瀬鈴さん
敢闘賞	3 年 建設科	松宮翔吾さん



就職面接指導 (9/5~9/8・本校各 HR・3 年生)



9月16日から始まる就職試験に向けて、今年度も外部より講師をお招きして、就職希望者対象に面接指導が行われました。入退室やお辞儀の仕方、面接官の質問への答え方など、緊張した様子が見受けられました。指摘を受けた点など再度確認し、落ち着いて本番に臨んで下さい。



9/5 『近江マイスター』大学・企業見学 (1年)

於: 県立大学・各企業



「見学先企業」

匠の技 : 井上仏壇 (株)清水合金製作所 (株)永楽屋仏壇工場
 先端技術 : 日本電気硝子(株) (株)ナイキ彦根工場 日世(株)びわ湖工場 (株)坂本金型工作所
 (株)SCREEN ホールディングス彦根事業所 (株)村田製作所八日市事業所
 パナソニックホームズ(株) サカティンクス(株)滋賀工場 フジテック(株)Big Wing
 環境技術 : 夏原工業(株)

滋賀県の発展に寄与してきた企業や大学等との連携から、工業高校生としての視野を広げ、ものづくりの重要性と創造性を身につけると共に、地域の未来を担う人材の育成を目指す事を目的として、1年生を対象に大学・企業見学を実施しました。2日に事前学習を行い、日本のエネルギーの課題について一人一人が学習し、日常生活の中で何ができるかということを考える良い機会になりました。その後、見学させて頂く企業について調べ学習を行いました。一つの会社について調べるといった経験はきっと将来に役に立つ時間になったように思います。

5日に1年生が午前中滋賀県立大学へ行き、工学部 山根浩二教授より「未来のエネルギー」の演題で講演をしていただきました。午後からは、6グループに分かれて企業見学へ行きました。生徒は、これまでの環境学習を通して得た知識が、実際にどのように会社で活かされているのかを知る良い機会になったように思います。7日の事後報告会では、生徒が1日の経験を通じて学んだことをまとめました。「近江マイスター」の授業で経験したことが、将来の進路選択において少しでも役に立てばよいと考えております。



インターンシップ事後報告会 (9/7・本校各 HR・2 年生)

7月11日～27日(最長10日間)で行われたインターンシップを終えて、各企業で実際に体験してきた内容や、教わったこと、感じたことなど、各クラスで発表しました。1人ずつ順番に発表するクラスや、グループに分かれて発表したあと、グループの代表者が皆の前で発表するクラスなど、工夫しながらの報告会となりました。自分の体験や、クラスメートの体験談を今後の進路選択に活かしてください。



『マイスター・ハイスクール事業』 滋賀トヨタ自動車(株)、ネットトヨタ滋賀(株)より軽トラックを寄贈

於: 滋賀県庁

今年度のマイスター・ハイスクール事業のメイン事業の一つであるプロジェクトマップを実施するにあたり、大型プロジェクターの台車用に滋賀トヨタ自動車(株)とネットトヨタ滋賀(株)より、軽トラックの寄贈を受け、9月12日、教育長への贈呈式がありましたのでお知らせします。今後は、彦根市や彦根商工会議所を始め、マイスター・ハイスクール事業でお世話になった方々に本校生徒が制作しました映像を提供させていただくとともに、その映像技術を評価していただければと思います。



9/13 『マイスター・ハイスクール事業』 カンパニー活動「カーボンニュートラルを学ぶ」(2年)

於: 滋賀県庁・豊郷町



カンパニー活動「カーボンニュートラルを学ぶ」での活動の一環で行っている菜の花から油を搾った残渣を含有したバイオプラスチックを用いたネームプレートが大杉滋賀県副知事へ寄贈いたしました。本校からは「カーボンニュートラルを学ぶ」を取り組む2年生の3名が滋賀県庁を訪問し、大杉副知事へ取り組みの目的や製造の過程などを説明しました。大杉副知事からは、「取り組み中で大変だったこと」など多くの質問をいただきました。このネームプレートをきっかけに「カーボンニュートラルを学ぶ」の活動が多くの方に知ってもらえると嬉しく思います。大杉副知事ありがとうございました。また、豊郷町長および豊郷町教育長のご厚意により、菜の花由来のバイオプラスチック素材で製作した初代伊藤忠兵衛氏の名言プレートを、伊藤忠商事株式会社石井敬太代表取締役社長に贈呈しました。伊藤忠商事(株)は、近年、SDGsへの貢献、取組を強化されており、子ども達が遊びを通してSDGsと出会う場「ITOCHU SDGs STUDIO」を開設するなど若年層のSDGs教育にも力を入れておられます。本校の今回の取組は、まさにSDGsを学び、菜種油(バイオディーゼル燃料)の採取とその搾りかすをポリ乳酸と配合して開発した菜の花レジジン(バイオプラスチック素材)で作られた、脱炭素、循環型ものづくりの結晶であり、石井社長にとっても喜んでいただけ、お礼に生徒に向けてメッセージもいただきました。本校の取組に御協力賜り、厚くお礼を申し上げます。



リクルートキャラバン出前授業（9/14・建設棟・1年建設科）



リクルートキャラバンの講演会では、主に土木の仕事についてわかりやすく説明していただきました。後半はクラスを5班に分け、それぞれが高さやデザイン性を競ってペーパータワーを作りました。設備業界の講演会では、水・空気がないと人間も、建物も機能しないという話で、設備の大切さを実感しました。2年生からの科目選択に、とても参考になる授業となりました。

9/14『近江マイスター』滋賀県立大学地域貢献プロジェクト【近江楽座】講演（1年） 於：各HR



学校設定科目「近江マイスター」ではSDGsやMLGsの学習に取り組んでいます。今回は滋賀県立大学の学生が取り組む地域貢献プロジェクト「近江楽座」の「あかりんちゅ」、「県大生き物研究会」のお二人を講師に迎え、オンライン講義を行いました。2つのプロジェクトチームの活動内容やその目的、SDGsとのつながりについて、わかりやすく講演をしていただきました。ご講演ありがとうございました。



◀ 生徒感想一部抜粋 ▶

- ・あかりんちゅさんのお話の中で、廃棄されたロウソクを再利用してSDGsにつなげることが印象に残りました。
 - ・これから物を無駄にしないように、自分ができる少しのことでも取り組んで行きたいと思いました。
 - ・外来種を駆除するだけでなく、料理にすることは生物を無駄にしない良い活動だと思いました。
 - ・生態系を守るための活動についてのお話を聞き、自分もボランティア活動に参加してみたいと思った。
 - ・廃棄ロウソクを利用したロウソクの循環だけでなく、イベントや施設に寄付するなど環境や人への思いやりを持った活動だと思いました。 ※ 近江楽座とは、滋賀県立大学の地域貢献をキーワードとする学生主体で運営するプロジェクトです。
- 近江楽座 HP <http://ohmirakuza.net/>

瓦工事組合出前授業（9/21,28・本校建設棟・1年建設科）



滋賀県瓦工事共同組合様の主催で、1年建設科の生徒が、9月21日と28日の2日間で前半・後半に分かれ、瓦工事についての講習を受けました。プロの方から丁寧に教えていただき、瓦工事についての技術に触れることができました。生徒は楽しく、また興味をもって積極的に質問をするなど、熱心に講習に参加していました。

『マイスター・ハイスクール事業』三日月知事、西川貴教滋賀ふるさと観光大使に名札贈呈

マイスター・ハイスクール事業のカンパニー制グループ、「カーボンニュートラルを学ぶ」チームの生徒達が菜の花由来のバイオプラスチック素材で製作した名札を、三日月知事と滋賀ふるさと観光大使の西川貴教氏に贈呈しました。



県立彦根工業高等学校の皆さん

謹啓 秋風の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
このたびはバイオマスプラスチック製の素敵な名札をいただきありがとうございます。菜種の搾りかすから、バイオプラスチック素材を開発し、プレートを作製されたとのこと、美しい仕上がりで唯一無二の存在感に心打たれました。
先日のイナズマロックフェスでは、西川貴教ふるさと観光大使に、私からこの名札を手渡し、大変喜んでいただきました。改めて作製いただいた皆さんに感謝申し上げます。

他にも、ユウグレナ培養土での菜の花栽培や、バイオディーゼル燃料の原料抽出など、新エネルギーでカーボンニュートラルを考える学習に取り組んでいると伺いました。

近年、国内外で、気候変動と推察される影響が、想定していたよりもはるかに早いペースで顕在化しています。皆さんのような若者を含む住民、事業者、団体などと積極的に連携しながら、CO2 ネットゼロ社会の実現に向けて、一緒に取組を進めていきたいと考えています。

自分たちの身の回りの問題に対して、自分たちで考え行動するということが、ぜひ大切になってください。私たち大人も一緒に考え、皆さんを全力応援していきたいと思っております。

皆さんが爽やかな学校生活を送ることができるよう、心よりお祈り申し上げます。 謹白

令和4年9月吉日
滋賀県知事 三日月 大造

知事と西川大使には、本校の取組に御理解賜り、厚くお礼申し上げます。

現場見学会（10/5・三重県境・1年建設科）



株式会社大翔様の主催で、1年建設科の生徒が、国道306号道路修繕工事の建設現場を見学させていただきました。現場では、法面の工法について詳しく教えていただき、最新のドローン測量やレーザー測量などICT機器を利用した工事について見学しました。生徒は工事について積極的に質問を行い、熱心に見学していました。

10/6 『マイスター・ハイスクール事業』カンパニー制 ～ YONEXとの勉強会 ～ 於:建設棟 ICT ルーム



マイスター・ハイスクール事業のカンパニー制グループ、「バイオプラスチック素材でガットを作る」チームのバドミントン部の生徒達がお米と菜の花由来のバイオプラスチック素材でバドミントンのガット等のバドミントン用品を製作する勉強会をスポーツメーカーYONEXの田中謙介副工場長の御協力を得て実施しました。勉強会では、ガット製作の基本となる「ストリング(紐)」の技術工程などの基本的知識を学び、バイオプラスチック素材でガットを作るに当たって、ストリングにする技術、粘着性、耐久性をどのようにクリアするか課題があげられました。



その他、バイオプラスチック素材を活かしたバドミントン用品製作の実現可能性について、様々な助言をいただきました。生徒達はこれから立ち向かう取組の困難さに圧倒される部分はありましたが、自分達が普段使っているガットがどのように作られるのかを学び、この製作に挑戦できることは、ものづくりの学校の特権であり、他の高校では味わえない尊い経験となると思います。これを機会に、生徒の想像力や協力して取り組む協調性、そして何とでもやり抜こうとする忍耐力を身に付けてくれることと期待しています。

中学生体験入学① (10/8・本校各科実習棟・3科)

第1回目の体験入学を行い、150名を超える中学生が参加してくれました。各科に分かれて実習を行い、実際の機械や道具、システム等に触れ体験し、「実際に習う内容がわかって良かった」「科の特徴を知ることができた」「楽しかった」といった感想が聞けました。部活動見学会も行き、興味のある部活を熱心に見学してくれました。ぜひ彦工に入学して、一緒に盛り上げてもらいたいです。



10/14 『近江マイスター』カンパニー制の説明会 (1年)

於:各 HR



現在2年生は約20名の生徒がカンパニー活動に取り組んでいます。その中でも「カーボンニュートラルを学ぶ」という課題を設定し、ユーグレナや植物を使用した環境に優しい素材の開発に取り組んでいる3名の生徒がオンライン形式で、本活動の魅力を紹介してくれました。その結果、1年生は40名を超える生徒が本活動への参加を希望してくれました。その生徒たちがこれからどのような取り組みをしてくれるか非常に楽しみにしております。



現場見学会 (10/17・彦根市・2年建設科)



安食川2期地区排水路工事現場では、クレーン車の操作をさせていただき、大変貴重な経験となりました。陸上競技場の現場では、大規模建築を支える先端の技術に触れることができ、より建設業への興味がわきました。建物のデザインも素晴らしく、完成してからまた来てみたいと思いました。

10/21 『マイスター・ハイスクール事業』ブラッシュアップ英語 (2年)

於:建設棟 ICT ルーム



現在、「ブラッシュアップ英語」では2年生31名が受講しています。その中で、マイスター・ハイスクール事業で連携しているミシガン州立大学連合日本センターより講師の先生に来て頂き、全20時間(10日間)に渡って授業をして頂きます。今回は初回として、講師と生徒の交流を主として進められました。プログラムの中では、プレゼンテーションの練習や異文化交流等の活動が予定されています。これから様々な英語での活動を通して、生徒自身の意見や考えを英語で伝える発信力を身に付けていけるように進めていきます。



校外学習
(10/21・彦根城・3年電気科2組)

3年電気科2組(情報系列)の課題研究のマルチメディア班12名が「彦根城」の撮影を行いました。晴天に恵まれ、彦根城やひこにゃん、キャッスルロード・玄宮園・楽々園をそれぞれの班(3人づつの4班に分かれて製作します)の絵コンテをもとに撮影を行ってきました。今後は、AdobePremiereProを使って編集し、本校の校舎壁面を使ってプロジェクトマップングをする予定です。ご期待ください。



ロードトレイン
(10/22・奥びわスポーツの森・機械科)



長浜市で行われた「こほくフェスタ」に、機械科で製作しているロードトレインが参加しました。多くの家族連れでにぎわっており、アンパンマン号はとても人気で、たくさんの方に乗車していただきました。

10/27,28 『マイスター・ハイスクール事業』 ドローン講習（マイコン部）

於：電気科実習室



マイコン部の希望者10名が参加して、ドローンに関する講習を専門の講師の方を招いて行いました。27日はモータやプロペラなどのパーツを組立て、自分たちの手で飛行可能な機体を作成しました。手のひらサイズの「マイクロドローン」と呼ばれる機体で、ネジや部品が小さく、はんだ付けに舌戦しました。28日は前日に作った機体を使って、飛ばし仕組みや基本的な操作方法を教わり、実際に飛ばす練習をしました。なかなか思い通りには操縦できませんが、頑張って練習していく予定です。



シーケンス講習（10/26,11/2・滋賀職能大・2年電気科1組）



滋賀職能大において2日間計6時間シーケンス制御の講習を受講しました。資格取得のための講習ということで、生徒たちはとても熱心に取り組んでいました。この講習をきっかけに、1人でも多くの生徒が資格取得できるように、頑張ってくださいと考えています。



小学校出前授業（11/4～・亀山小他・3年電気科2組）

電気科情報系課題研究 Scratch 班では、去年より Scratch プログラミングでの出前授業を行っています。どの小学校でも児童たちは楽しみに待っていてくれます。当日45分授業の2時間続きで行いました。6年生ともなると、休みなしでみんな集中して取り組んでいます。生徒たち丁寧にとりひりに接しています。人に教えることで、それぞれの児童たちへの対応など、その場で考え、判断し、実践するという今までにない学びの体験をしています。



11/7 文科省指定『マイスター・ハイスクール事業』中間成果発表会 於：東京都港区立産業振興センター



このたび、マイスター・ハイスクール指定校16校が、それぞれの地域における特色ある取組の成果と今後の展望について発表する中間成果発表会が開催されました。オンラインでの参加を含めると約200名もの方が参加されていました。今年で本事業が始まって2年目を迎え、それぞれの学校が地域の特性を活かしたこれまでの取り組み成果を発表しました。本校は、「変化への挑戦(Challenge for Change)～進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人材の育成～」をテーマに、これまでの様々な取り組みを提示しました。そして、他の学校の興味深い成果を聞く中で、本校に置き換えてできることは何かを考え、これからの取り組みを見つめ直すとても良い機会となりました。この場で得たことを生徒に還元し、本校が工業高校のモデル校となることできるよう、引き続き変化への挑戦を実行していきます。



電気工事組合講習（11/9・電気科実習棟・2年電気科1組）



電気工事組合にご協力いただき、午後の実習の3時間を使って、校舎の電灯のLED化工事を体験させていただきました。4限目は開会式を行い、全体にどのような工事を行うかお話しいただきました。その後残りの時間を使って10人1組の4班に分かれて安全講習を受けました。5限目は取り付け作業を体験、6限目は高所作業車の乗車体験をしました。普段の実習では学べないことを体験させてもらって、生徒たちは満足な様子でした。この経験を将来につなげてもらいたいです。

11/11 『マイスター・ハイスクール事業』「プロジェクションマッピング」使用動画の発表会（3年）

於：ICT ルーム



本校マイスター・ハイスクール事業で取り組んでいるプロジェクションマッピングの進捗状況を報告します。3年生電気科情報系の12名4班が彦根城で撮影した映像をプロジェクションマッピング用に編集し、動画の選考会と発表会を行いました。5限目に、中間棟4階のデータ処理室にて、彦根市企画振興部 広報戦略課シティブロモーション係の船橋様、彦根市産業部 地域経済振興課 雇用労政係 主任の田中様をお招きし、選考会を行いました。映像をご覧いただき、多くの助言を頂戴しました。また、放課後、本校教員に向けてテーマや工夫した点を加えながら発表しました。各班とも今まで学習したことを生かし、見ごたえのある映像を仕上げてくれました。今後、この映像を用いて校舎の壁を使ってプロジェクションマッピングを投影します。ご期待ください。なお、写真は、放課後行われた職員向け（ICTルーム）のものです。



ものづくりコンテスト全国大会【木工】（11/12,13・富山県・建設科）



全国各ブロックから代表選手が集結し、富山市民プラザで2日間にわたって開催されました。近畿代表として本校3年建設科の長江湖白さんが出場しました。この日に向けて、作品の精度を上げるだけでなく、道具の整備についても負けないように努力を重ねてきました。残念ながら目標としていた入賞には届きませんでしたが、全国でも十分通用する実力が着いたという自信を持つことができました。他ブロックの選手とも話ができて、有意義な大会でした。この経験を、今後の人生に生かしていきたいです。



文化祭（11/17・本校・クラス展示,科展示他）

今年度も校内の展示のみでの開催となりました。課題研究で製作した作品や、各クラス・委員会・部活で取り組んだ作品など、とても見応えがありました。体験型の展示には列ができていたものもあり、それぞれに楽しんでいる様子がうかがえました。残念ながらステージ発表と模擬店は中止となってしまいましたが、有意義な1日が過ごせました。



3年



2年



1年



県ロボット競技大会（11/19・国際情報高校・機械科/電気科）



国際情報高校で【第29回ロボット競技大会】が行われました。県内の工業系高校6校から32台が集まり、本校からは機械科3台、電気科1台、計4台のロボットが出場しました。電気科の「いいです75号」が満点でゴールをし、2位以下を引きはなして見事5年ぶりの優勝を果たしました。おめでとうございます！



中学生体験入学②（11/20・本校各実習棟・3科）

今回も100名を超える中学生が参加し、実習の体験をしてくれました。前回とは違う科で参加してくれた生徒もあり、「2回体験してより入学したい気持ちが増えた」といった感想も聞けました。進路選択に向けて各科それぞれの特徴を知ってもらえたことと思います。



現場見学会（11/22・彦根陸上競技場・3年電気科1組）



電気、衛生、空調の各現場の概要をお聞きし、現場見学をさせていただきました。貴賓室や普段入ることができない部屋も見学出来ました。完成が待ち遠しいです。

現場見学会（11/24・NEXCO 中日本・2年建設科）



NEXCO 中日本様の主催で、日本橋梁(株)・オリエンタル白石(株)JV、西松建設(株)・西武建設(株)JV 施工の多賀橋橋梁補修工事・車線拡幅工事の建設現場を、2年建設科の生徒が見学させていただきました。本校ICTルームで施工現場や施工方法について説明をしていただき、橋梁補修工事現場では、PC板とRC板の耐荷体験、シュミットハンマーでの非破壊検査を体験させていただきました。車線拡幅工事現場では鉄筋の結束と、EDO-EPS工法での発泡スチロールの施工を体験させていただきました。生徒は工事について積極的に質問を行い、熱心に見学・体験していました。

技能検定表彰式（11/25・大津市・3年建設科）



令和4年度滋賀県職業能力開発促進大会が大津市生涯学習センターで行われ、本校3年建設科の甲野尚希さんが技能競技大会での成績最優秀者（3級大工工事）として知事表彰、同じく山本莉玖さんが成績優秀者（3級大工工事）として職業能力開発協会賞を受賞しました。おめでとうございます。「今回の受賞を励みに、さらにいろんなことにチャレンジしていきたいです。」（本人談）

11/26 『マスター・ハイスクール事業』彦根発、笑顔いっぱいプロジェクト表彰式(1年) 於:ピバシティ彦根



当該プロジェクトは、同じ彦根市に拠点を持つ企業として株式会社平和堂、キリンビール株式会社（滋賀工場）、株式会社プリチストン（彦根工場）が滋賀大学と連携して行われているものです。この企画は、地域住民との交流、地域資源の発掘や地域課題を発見・解決へ取り組む経験を通じ、高校生が自ら考え行動し、夢に向かってチャレンジする力の醸成と地域への深い理解を促進することを目的としています。本校では「近江マスター」の一環で多くの1年生が企画について考え、応募してくれました。その中で、優秀賞として「5Rとフリーマーケット」を企画した 松岡輝さん（1年建設科）が選出されました。また、アイデア賞として「彦根で新しい宿泊体験を！！」を企画した 園林優翔さん（1年建設科）、「彦根の隠れパワースポットを知ろう」を企画した 北村一喜さん（1年機械科3組）が選出されました。優秀賞に選ばれた松岡さんは夏休み期間中に滋賀大学の生徒さんたちと協力し、企画の実現に向けて取り組みました。今回は惜しくも最優秀賞には選ばれませんが、「学校生活ではなかなか体験することができない貴重な経験だった。」と振り返ってくれました。今回の経験を通じて、生徒たちの柔軟な発想でまちづくりに参画してくれることを期待しています。



ハンガーラックお披露目会（12/9・本校木工室・木工部）

彦根のボランティア団体「ほどほど」さんから依頼を受け、木製ハンガーラックを製作しました。「ほどほど」さんは、不要になった中学校の制服や学用品などを回収してリユースされています。その際、保管や展示をするためのラックを、温かみのある木材で作ってほしいとの希望でした。多くの人の役に立つならと、木工部員で力を合わせ、部材をほぞで組んで、しっかりとしたハンガーラックを製作しました。ぜひ長く使っていただきたいと思います。



12/9 『マスター・ハイスクール事業』近江商人について学ぶ(伊藤忠兵衛氏) 於:本校体育館



豊郷町にある伊藤忠兵衛記念館の桂田繁氏に近江マスターの授業で代表的な近江商人である伊藤忠兵衛氏の半生についてご講演をいただきました。生徒は、伊藤忠兵衛さんが自分達と同世代の15歳で事業を始められたことに驚き、「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」や「商人は嘘をつかないこと」、「三つのこと（場所、仕事、人）を好きになる」などの名言の裏にある伊藤忠兵衛さんの歩んだ道（経験）の説明を受けてとても感銘を受けました。その他、伊藤忠兵衛さんはせっかちであったこと、朝起きは苦手であったこと、月に6回はすき焼き鍋を食べていたことなど、通常知り得ない貴重なお話を伺い、近江商人を知る上でとても良い機会となりました。今後は、これらの教を心に留め、ものづくりに活かしてもらえればと思っています。



生徒作品展示会（12/10・ピバシティ彦根）

ピバシティ彦根2階の特設展示場にて『生徒作品展示会』を行いました。昨年は100周年記念式典が行われたため2年ぶりの開催です。課題研究での取り組みや、文化祭で製作した作品の展示、マスターハイスクール事業の取り組みなど、多くの方々に見ていただくことができました。残念ながらものづくり体験等は行えませんが、地域の方に彦根の取り組みを知っていただける機会となりました。

★電気科展示

☆プロジェクトマッピング

★機械科展示

☆とびだし注意看板

★建設科展示

★マスターハイスクール事業

12/16,17 『マスター・ハイスクール事業』 防災キャンプ開催(1・2年希望者) 於:荒神山自然の家

荒神山自然の家にて、一泊二日の防災キャンプを開催しました。1年生7人、2年生17人の合計24人の生徒が参加しました。一日目は、彦根市役所危機管理課の職員の方々の協力で、実際に災害が起こったことを想定して、避難所を設営しました。2年生は昨年度も参加していたこともあり、避難所設営の要領を得て、率先して取り組んでいました。1年生はすべてのことが目新しい様子で、先輩の指示を聞きながら一生懸命取り組んでいました。また、夕食には生徒たちで火起こしを行い、非常食を使いカレーライスを作りました。生徒それぞれが自分の役割を責任持って全うし、充実した様子がうかがえました。二日目は、生徒が「プレゼンテーション能力」を身につけるために、自己紹介の練習を行いました。講師の先生の協力の下、話す順番、話し方など、きめ細やかな指導をしていただき、生徒一人ひとりの「伝える力」を向上させることができました。二日間を通して、参加生徒は普段の学校生活では関わることのない生徒同士の交流、外部機関との交流を経て、防災に関する知識を身につけることができたとと思います。来年度も、生徒にこのような機会を提供できるように取り組んでいきたいと思っています。



12/22 『マスター・ハイスクール事業』 プロGRESS実習発表会(3年) 於:清水合金製作所



本事業の目玉の一つである3年生を対象とした「デュアルシステム」が来年度より施行されます。「デュアルシステム」とは、選択教科「プロGRESS実習」での授業内で週に1回程度、産業界・大学・関係機関の専門家から学校の内外で学ぶ機会を作ります。学校と学校以外での両方の場面で専門技術について学ぶ仕組みの構築を目指すものです。今年度から3年生機械科の4名の生徒が先行して取り組んでいます。今回の発表会では、4名が技術本部・生産本部に分かれて、課題を設定し、社員の方々と協力して解決方法を報告しました。この経験を踏まえて、今後、それぞれの進路で活躍してくれることを期待しています。



【生徒の感想】

- ・社員の方々とコミュニケーションを図り、課題解決に取り組むことが難しかったが充実した時間だった。
- ・とても良い経験だったので、先輩たちにもチャレンジしてほしい。

12/23 『マスター・ハイスクール事業』 プロジェクションマッピング試写 於:彦根市役所



本校マスター・ハイスクール事業で取り組んでいるプロジェクションマッピングの進捗状況を報告します。3年生電気科情報系の生徒が製作した彦根城PRのためのプロジェクションマッピング試作を、13日に本校建設棟校舎壁面に、23日には彦根市の協力の下、彦根市役所の壁面に投影しました。生徒作品の他に彦根市が全国に誇るゆるキャラの『ひこにゃん』などの画像も投影し、投影位置や色彩などを確認しました。彦根市役所前を通行される方が足を止めて見学される様子も伺え、今後の動画製作のモチベーションが向上しました。



12/26 『マスター・ハイスクール事業』 バイオプラスチックで百人一首の札製作・展示 於:近江神宮



マスター・ハイスクール事業のカンパニー制グループ、「カーボンニュートラルを学ぶ」カルタ製作隊の生徒達が菜の花由来のバイオプラスチック素材で製作した小倉百人一首100首を天智天皇ゆかりのカルタの聖地、近江神宮(令和5年1月)と紫式部ゆかりの石山寺(令和5年3月)で展示します。製作に当たり、(株)天堂様よりカルタ画像の(展示)使用許可をいただき、カルタ製作隊代表の北川尚貴君(機械科1年生)ほか数名が放課後3時間余り、約1か月を掛けて仕上げました。微生物類ユージュレナで育った菜の花の種子残渣で、このようなすばらしい成果物ができるものづくりの楽しさを学び、今後も自分たちの創造性を伸ばして行ってほしいです。また、マスター・ハイスクール事業のカンパニー制グループ、「カーボンニュートラルを学ぶ」チームの生徒達が菜の花由来のバイオプラスチック素材で製作した偉人プレートが県ふるさと納税の返礼品に登録されました。高校生の製作物が返礼品となるのは県内初の試みです。



本校では、令和4年12月に桂田 伊藤忠兵衛記念館館長より、伊藤忠兵衛氏の半生を通じて近江商人の哲学やものづくり精神を学びました。また、県内に工場や研究所を有する御村田製作所の創業者村田昭氏の偉人名言プレートも作成しました。今回の偉人プレートは、こうした学びへの応援に対する感謝の気持ちを示したものです。

大学主催 建設設計競技 ☆ 入賞

大学主催の建築設計競技で、5名の生徒が入賞しました。

日本大学 第69回全国高等学校・建築設計競技

・奨励賞 3年建設科 松本 優羅さん

星槎道都大学 美術学部住宅設計コンクール 2022

・奨励賞 3年建設科 西村 将さん

岐阜女子大学 わたしの住まいリフォーム・デザイン案コンテスト 2022

・奨励賞 3年建設科 萩原 空大さん

日本工業大学 第36回日本工業大学建築設計競技

・審査員賞 3年建設科 山本 莉玖さん

・奨励賞 3年建設科 村地 伸理さん



おめでとうございます！

安全スローガン優秀作品表彰 (1/27・本校応接室・3年生)



3年生を対象に彦根労働基準監督署より来校していただき、労働災害事例などを学びました。また、安全意識を高め、労働災害を防ぐ内容のスローガンを全員が考えて提出し、4名が優秀作品賞を受賞しました。これらは湖北・湖東事務所にある事業所にポスターやパンフレットとして活用される予定です。

2/2 『マスター・ハイスクール事業』 学校PR動画撮影

於:本校



本事業の一環で学校独自のPR動画を作ることになりました。撮影のために株式会社ソフィア様(※)から2名の担当者の方々に来て頂き、2日間に渡り、プロの視点で動画の撮影を行いました。出演した生徒は緊張の面持ちながらも本校のPRに努めてくれました。どんな内容になるのか楽しみにしてください。



(※) 株式会社ソフィア・・・文科省から指定を受け、本校マスターハイスクール事業の伴走支援をしてくださる企業

生徒意見体験発表会 (2/12・信楽陶芸の森・3年機械科)

身近な問題や意見や各科目・課題研究で取り組んだ研究の成果を、県内の高校から6校8テーマの発表がありました。本校からは3年生機械科による「デュアルシステムの成果報告」と題して、校内の学習と実習に加え、企業内の実務体験の成果を4名で発表しました。最後に審査発表があり、惜しくも最優秀賞とはなりませんでした。優秀賞の結果を頂くことができました。



住宅展示場見学 (2/13・彦根市・2年建設科)



住宅会社8社の協力を得て、モデルハウスの見学に行ってきました。どのモデルハウスにも特徴があり、勉強になることばかりでした。特に外部空間とのつながりや、ロフトの使い方などが面白いと思いました。現在建設科2年は、建築計画の授業のフリー設計課題で各自オリジナルの住宅を計画中であり、今回の見学に刺激を受け、各社のアイデアを自分のプランにも色々取り込んでいこうと思いました。



2/16 『マスター・ハイスクール事業』 ウクライナの家庭料理～調理実習(2年)

於:家庭科実習棟



ブラッシュアップ英語を選択する生徒が英語と他国の文化を学ぶため、ウクライナの家庭料理「グレンキ」作りに挑戦しました。講師としてウクライナの家庭料理をキッチンカーで販売されているカテリーナさん親子をお招きし、調理工程を英語で説明してくださいました。また、ミシガン州立大学連合日本センターからステフ先生、インパクトラボからお二人の方にもお越しいただき、和気あいあいとした雰囲気の中で英語を学ぶことができました。生徒もつたない英語ながらもジェスチャーを交えて、講師の先生と会話する姿が見られました。お越しくくださった先生方ありがとうございました。



※協力 ファイナ ウクライナ料理 Faina HP (<https://www.faina.tokyo/>)



2/17『マイスター・ハイスクール事業』ブラッシュアップ英語「SDGsについて」の学習(2年)

於:建設棟ICTルーム



以前から本校のSDGs、MLGsについての学習をサポートして下さる一般社団法人インパクトラボから畠さん、藤枝さんをお迎えし、英語でSDGsについての学習を行いました。講師のお二人の経験も交えながらクイズ形式でのSDGsに関わる学習を行い、最後には自分たちのできることを紙に書いて発表しました。SDGsについて学びながら、それらに関わる英単語などわかりやすく解説してくださいました。畠さん、藤枝さん、ありがとうございました。



住宅設計講演会 (2/20・本校建設棟・2年建設科)



2年建設科を対象に、株式会社木の家専門店谷口工務店様から講師をお招きし、『心地よい住宅をつくるために』というタイトルで講演をしていただきました。設計の実例を写真や図面、パースなどで分かりやすく解説していただき、生徒も興味深く聴いていました。特に、外部空間を室内に取り込む、というキーワードは、生徒にも刺激になったようです。現在2年生は住宅の設計課題に取り組んでおり、この講演から学んだことを自分の設計に活かして行ってほしいと思います。



成果発表会 (2/22・ひこね市文化プラザ)

昨年はコロナ禍のため校内でのオンライン配信による開催でしたが、今年度は2年ぶりにひこね市文化プラザにて開催することができました。受付は生徒会で行い、イベントジャンパーを活用して、会場への案内をしてもらいました。1階のホールには、各科とマイスター・ハイスクール関連の展示を行い、お越しいただいた企業様や保護者に作品等を見て頂きました。インターンシップの体験報告や課題研究の発表、マイスター・ハイスクール事業の取組報告など、緊張した様子もうかがえましたが、しっかりと発表することができました。



◇各科展示コーナー



◇インターンシップ・課題研究等



◇生徒会による受付・案内



また、株式会社アスタリスク 代表取締役社長 鈴木規之様には「人生成功のコツと、会社設立の勧め」の演目で講演をしていただきました。自身の学生時代の経験談などを交え、考え方や見方を少し変えることで成功に近づく、何事も一生懸命楽しんでほしいとおっしゃっていました。1、2年生は、今年度の活動報告や講演を次年度以降に活かしてください。



◇マイスター・ハイスクール関連



◇株式会社アスタリスク 鈴木様 講演



3/1『マイスター・ハイスクール事業』バイオプラスチックで百人一首の札展示

於:石山寺



以前に近江神宮で展示させていただいたバイオマスプラスチック製の小倉百人一首を現在、紫式部ゆかりの石山寺で展示させていただいています。小倉百人一首の100枚の札を「恋」「四季」などのテーマごとに5つに分類し、それに沿ったデザイン等を添えて展示しています。展示にあたり本校生徒にプロの作品に触れさせたいとの思いからアルファフローリストのフラワーデザイナーの河合様がフラワーデザインを施してください、より一層展示が華やかになりました。3月4日(土)には展示のPRのお手伝いに大津市観光キャラクターの「おつ光ルくん」が石山寺に来てくれ、会場を盛り上げてくれました。その際に製作に携わった生徒を代表して北川尚貴さん(1年機械科3組)がNHKの取材を受け、製作に当たって工夫した点や今後の展開についてのインタビューに答えてくれました。展示は3月1日(水)~3月26日(日)まで実施しています。是非、石山寺まで足を運んでいただくと幸いです。



3/13 『マスター・ハイスクール事業』 バイオディーゼル燃料の精製実験とディーゼルエンジン稼働体験

於:本校中庭



本校が取り組む「カーボンニュートラルを学ぶ」の取り組みとして、NPO 法人愛のまちエコ倶楽部からお二人の先生に来ていただき、廃食油からバイオディーゼル燃料（BDF）を精製する実験を行いました。本校ではエネルギーの自給自足を学ぶ目的から搾油用の種子植物を栽培しています。本校で収穫した種子から搾油した油の廃食油をバイオディーゼル燃料に加工して発電機を動かす、プロジェクションマッピング等の電力として利用する計画です。今回は地域内資源循環の取り組みや菜種油の搾油体験、廃食油からバイオディーゼル燃料になる工程について学び、実際に精製したバイオディーゼル燃料でカート乗車と発電機を動かす体験を行いました。取り組みに興味を持って参加してくれた生徒たちは自分たちが実験で精製したバイオディーゼル燃料でエンジンが稼働し、カートが動いたり、発電機で電力が生まれたりする様子に歓声が上がっていました。今後も「カーボンニュートラルを学ぶ」の取り組みを進めてまいります。愛のまちエコ倶楽部の皆様ありがとうございます。 NPO 法人愛のまちエコ倶楽部 HP <http://ai-eco.com/>



3/16 『マスター・ハイスクール事業』 三日月知事来校

於:本校セミナーハウス

本校のカーボンニュートラルの取り組みに対して、三日月知事が生徒との懇談会のために来校されました。以前より「カーボンニュートラルを学ぶ」の取り組みのPRとして、菜の花由来のバイオプラスチック製ネームプレートを贈呈しています。知事にもネームプレートを贈呈させていただいたことで本校の取り組みに興味を持ってくださり、懇談が実現しました。本校生徒から三日月知事に対し、バイオディーゼル燃料やバイオプラスチック製品製作に取り組む「カーボンニュートラルを学ぶ」の取り組み、現在石山寺でも展示しているバイオプラスチック製百人一首の取り組み、今後のカーボンニュートラル普及を目指す生徒会の取り組みについて発表しました。生徒の発表に三日月知事は頷きながら、時には感想を交えながら熱心に聞き入れてくださいました。その後の懇談会では三日月知事からカーボンニュートラルについて、ご自身の経験を踏まえてお考えを話していただきました。その後、「この活動に参加したきっかけや、今後の展開について」「将来に希望について」など多くの質問をされました。生徒は緊張しながらも質問に答えていました。また、生徒からの質問に対して、三日月知事から生徒が前向きになれるようなお言葉をたくさんいただきました。最後には三日月知事の座右の銘を印字したバイオプラスチックプレートを贈呈しました。ご来校ありがとうございました。



滋賀県立彦根工業高等学校

～やりたい自分がそこにいる、なりたい自分がそこにある～

我々の誇りは、100年を超える**工**学歴

大切なのは、**誠実性**と**勤勉性**を併せ持った**人間力**

ものづくりが好きで**好奇心旺盛**な**生徒**を求めています



文部科学省 **マイスター・ハイスクール事業**

(次世代地域産業人材育成刷新事業)

全国15校の中、**近畿で唯一の指定校**

〒522-0222 滋賀県彦根市南川瀬町1310番地

TEL : (0749) 28-2201(代)

FAX : (0749) 28-2936

ホームページ : <http://www.genkou-h.shiga-ec.ed.jp>

Eメール : genkou-h@pref-shiga.ed.jp





彦工は、マイスター事業を機に今まで以上に社会との接点を持ちながら、「ものづくり」を通じて社会貢献を目指します



電気科



彦根市役所等、校外へ出張マッピング予定

県下公立高校初のプロジェクションマッピング制作に挑戦！



英語

ミシガン州立大学連合日本センターの先生によるブラッシュアップ英語

機械科



近江神宮と石山寺でカルタ展示予定

変化への挑戦！



ドローン講習

建設科



防災かまどベンチ地域に設置

災害に貢献！
ベンチがかまどに早変わり！！

ユーグレナを入れた培養土で育った菜の花由来のバイオプラスチック素材でものづくり



知事、副知事に名札を贈呈



新たにトイレを全面改装

ドイツのフラワーアレンジメントマイスターの称号を持つデザイナーがアレンジメント

YouTube 「彦根工業 トイレ」で検索

(3) 令和4年度 教育課程表(1年)

令和4年度教育課程表

滋賀県立彦根工業高等学校 全日制課程 工業学科

学校番号	12
------	----

小学科名		標準 単位	必 履 修	学 校 設 定	1年							
					機械	電気	建設	計				
教科	科目											
国語	現代の国語	2	◎		2	2	2	2				
	言語文化	2	◎		2	2	2	2				
地理 歴史	地理総合	2	◎		2	2	2	2				
数学	数学 I	3	◎		3	3	3	3				
理科	科学と人間生活	2	◎		2	2	2	2				
保健 体育	体育	7~8	◎		2	2	2	2				
	保健	2	◎		1	1	1	1				
芸術	音楽 I	2	◎		*2	*2	*2	2				
	美術 I				*2	*2	*2					
外国語	英語コミュニケーション I	3	◎		2	2	2	2				
					18	18	18	18				
工 業 共 通	工業技術基礎	2~4	◎		3	3	3	3				
	製図	2~8			2	2	2	2				
	工業情報数理	2~4	◎		2	2	2	2				
	近江マイスター	1		○	1	1	1	1				
業	機 械	機械工作	2~8		2			2				
		機械設計	2~8		2			2				
	電 気	電気回路	2~8			4		4				
建 設	建築構造	2~6					2	2				
	建築構造設計	2~8					2	2				
小 計					12	12	12	12				
各教科・科目 計					30	30	30	30				
選 択 計												
ホームルーム活動					1	1	1	1				
合計(時間数/週)					30	30	30	30				
合計(単位数/年)					30	30	30	30				
卒業に必要な履修単位数					88							
卒業に必要な修得単位数					88							
<p>(備 考)</p> <p>◎は必修科目、○は学校設定科目を示す。</p> <p>*はどちらかを選択履修する。</p> <p>「総合的な探究の時間」は課題研究にて、科目「情報 I」は工業情報数理にて、それらの全てを代替する。</p> <p>「近江マイスター」については、1年次、夏季休業中に集中して受講するものとし、増単位として認めることとする。</p>												

令和4年度 教育課程表(2年、3年)

令和4年度教育課程表

学校番号 12

学年		標準 単位	必履 修	学校 設定	2年				3年					
小学科					機械	電気		建設	計	機械	電気		建設	計
教科	科目					電気系	情報系				電気系	情報系		
国語	現代文B	4			2	2	2	2	2	2	2	2	2	4
地理 歴史	世界史A	2	◎		2	2	2	2	2					
公民	現代社会	2	◎							2	2	2	2	2
数学	数学Ⅱ	4			3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
	数学Ⅲ	5								DF2	DF2	DF2	DF2	0~4
	数学A	2			A2	A2	A2	A2	0~2	G2				0~2
理科	数学B	2			B2	B2	B2	B2	0~2					
	化学基礎	2	◎		2	2	2	2	2					
保健 体育	生物基礎	2	◎							2	2	2	2	2
	体育	7~8	◎		2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
外国語	保健	2	◎		1	1	1	1	1					
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	◎		2	2	2	2	2					
	英語表現Ⅰ	2								2	2	2	2	2
家庭	英語演習			○						F2	F2	F2	F2	0~2
	ブラッシュアップ英語			○	C2	C2	C2	C2	0~2					
	家庭基礎	2	◎		2	2	2	2	2					
					16~22	16~22	16~22	16~22	16~22	13~17	13~17	13~17	13~17	13~17
工業 共通	課題研究	2~4	◎							3	3	3	3	3
	実習	3~22			*3	*3	*3	*3		3	3	4	4	3
	ブラッシュアップ実習			○	*3	*3	*3	*3						3~4
	製図	2~12			2	2	C2	2	0~2	2			3	2~3
電気 科	生産システム技術	2~8			B2				0~2	F2				0~2
	機械工作	2~10			C2				0~2	2				2
	機械設計	2~8			2				2					2
	原動機	2~6								D2				0~2
	自動車工学	2~8			A2				0~2	D2				0~2
	電気基礎	2~10				2			2					
	電気機器	2~6				A2			0~2		D2			0~2
	電力技術	2~8				B2			0~2		5			5
	電子回路	2~6				C2			0~2					
	通信技術	2~6									F2	F2		0~2
建設 科	電子計測制御	2~6										3		3
	プログラミング技術	2~8					2		2					
	ハードウェア技術	2~10					2		2					
	コンピュータシステム技術	2~10									2			2
	経営科学			○			A2		0~2					
	アルゴリズム基礎			○			B2		0~2					
	マルチメディア技術			○							D2			0~2
	建築構造	2~8						C2	0~2					
	建築計画	2~8						2	2				F2	0~2
	建築構造設計	2~8						B2	0~2					
建築施工	2~6										3		3	
空気調和設備	2~8						A2	0~2						
衛生・防災設備	2~8										D2		0~2	
土木基礎力学	2~6										D2		0~2	
土木施工	2~6						A2	0~2						
小 計					7~13	7~13	7~13	7~13	7~13	12~16	12~16	12~16	12~16	12~16
各教科・科目 計					23	23	23	23	23	25	25	25	25	25
選 択 計					6	6	6	6	6	4	4	4	4	4
ホームルーム活動					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計(時間数/週)					30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
合計(単位数/年)					29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
卒業に必要な履修単位数					88				87					
卒業に必要な修得単位数					88				87					
(備 考)														
◎は必履修科目、○は学校設定科目を示す。														
「総合的な探究の時間」は課題研究にて、科目「情報の科学」は情報技術基礎にて、それらの全てを代替する。														
A~Fは選択科目、数字は単位数を表す。なお、選択Aを履修した者は選択Dを、選択Bを履修した者は選択Eを、														
選択Cを履修した者は選択Fを履修することを原則とする。														
GはAで数学Aを選択できなかった電気系の者が選択履修できる。														
数学Ⅲについては数学Ⅱの内容を全て履修した後に履修する。														
選択D、選択Fの「3年数学Ⅲ」は、必ず両方を履修する。														
「近江マイスター」については、1年次、夏季休業中に集中して受講するものとし、増単位として認めることとする。														


(4) 非認知能力の個人カルテ (サンプルイメージ)

彦根工業高校 非認知能力

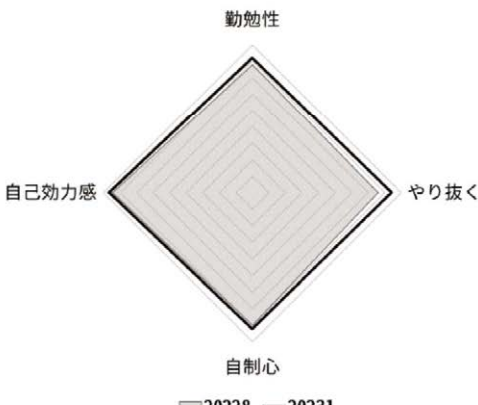
個人カルテ

クラス : M3
出席番号 : 00
名前 : 彦根 工太郎

非認知能力とは、一般的な試験などで評価できない、社会活動・日常生活において重要な影響を及ぼす能力の事です。学力のように1人で身につけられるものとは異なり、集団行動や失敗、困難を乗り越える体験など、様々な経験から身につけられます。このレポートで自身の非認知能力を把握し、日々の活動に活かしていこう！

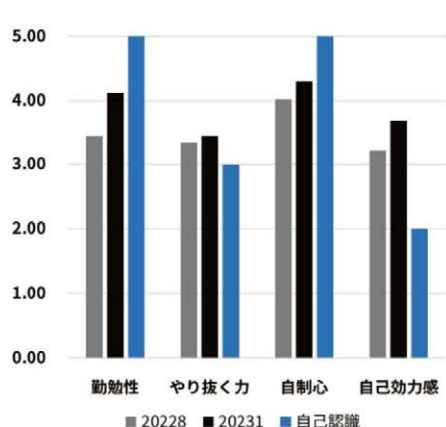


📊 今回の測定結果



□ 20228 — 20231

🎯 非認知能力ギャップ



■ 20228 ■ 20231 ■ 自己認識

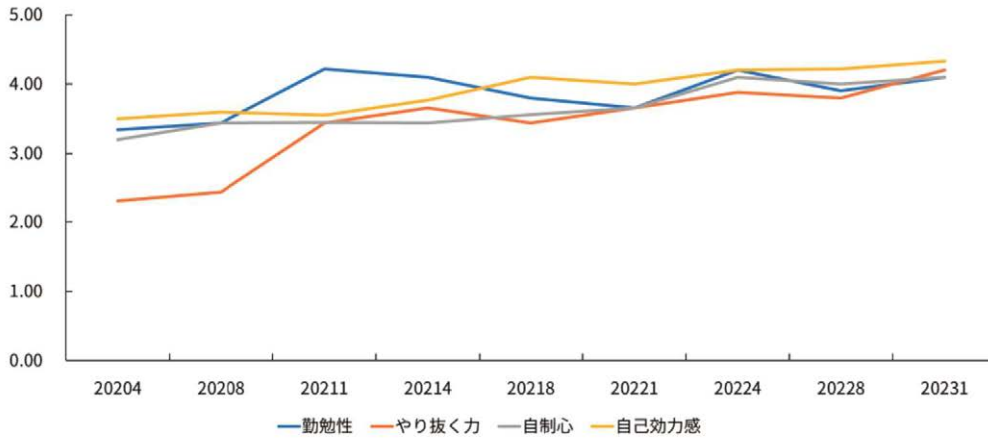
測定結果に対するあなたの到達度

勤勉性	前年度と比べ、若干向上している。 クラス平均と比べ、若干低い傾向にある。学年平均と比べ、若干低い傾向にある。
やり抜く力	前年度と比べ、向上している。このままの能力維持ができるようにする。 クラス平均と比べ、非常に高い傾向にある。学年平均と比べ、非常に高い傾向にある。
自制心	前年度と比べ、若干向上している。 クラス平均と比べ、若干低い傾向にある。学年平均と比べ、若干高い傾向にある。
自己効力感	前年度と比べ、若干向上している。 クラス平均と比べ、非常に高い傾向にある。学年平均と比べ、高い傾向にある。

MHS 事業への取組

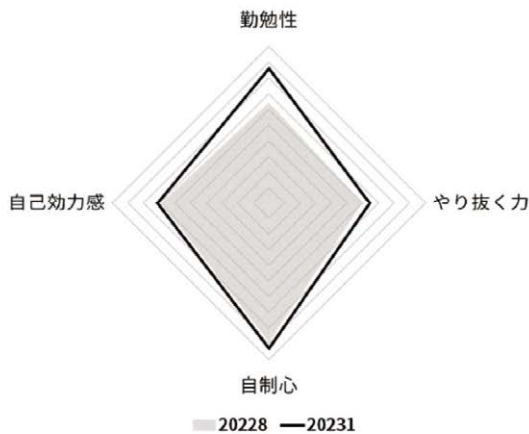
カンパニー活動の一貫で、菜の花レジンのプレート作りに参加した。
課外活動で企業にインターン活動を行い、ものづくりの大切さを学んだ。

📊 これまでのあなたの測定結果

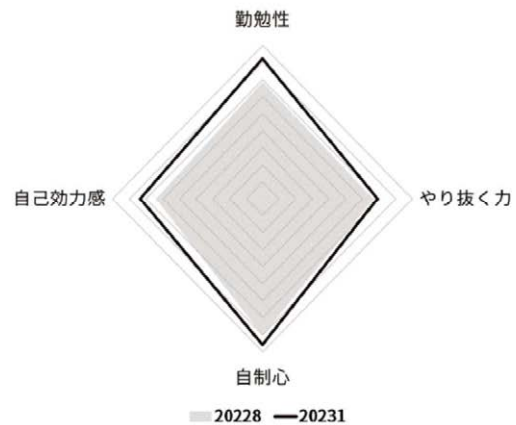


非認知能力は意識して、継続することで伸ばすことができる能力です。研究論文によると、非認知能力の向上は個人の成功、そして社会経済の発展に繋がる事を示しています。(Heckman, 2001)

👥 クラス平均結果



🏫 学年平均結果



分析・考察・メモ



滋賀県立彦根工業高等学校

〒522-0222 滋賀県彦根市南川瀬町1310番地

TEL:0749-28-2201(代表)

FAX:0749-28-2936

学校HP

<http://www.genkou-h.shiga-ec.ed.jp/>



学校公式 Instagram

